

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪(新雪)20cm(600N/m²)を超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行ってください。



お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・フーゴAパークを施工する場合は、本取付説明書と合わせて下記の取付説明書もご確認ください。
 - ※「フーゴA ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書 (D589)」
 - ※「サイドパネル 取付説明書 (D603)」
 - ※「輪止め 取付説明書 (D384)」

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込深さを確保してください。
- ・コンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。
- ・コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。
- ・設置する場所の条件により、基礎サイズが変わります。性能を発揮するためには、下記のような現地条件に応じて施工してください。①地盤の堅牢/軟弱さ(地耐力等)、②地盤内の埋設物の有無、③隣地境界線近くの設置、④別の構造物の基礎近くの設置
- ・本書の基礎サイズは地耐力を100kN/m²として記載しております。

<基礎工事について> (つづき)

⚠ 注意

- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石などを敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内に水が溜まると凍結膨張や腐食により柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竖樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。竖樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・製品の強度低下、またはケガのおそれがありますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
 - ※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)
 - ※φ6ネジ：8.0N・m±0.5N・m(80±5kgf・cm)
 - ※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m(200±5kgf・cm)

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
 - 特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

INDEX

■表示マーク.....	3	■背面部パネルの施工.....	15
■施工の流れ.....	3	1 ボルト挿入本数・挿入箇所の確認.....	15
■梱包明細表.....	4	2 上棧の組み立て.....	15
■各部の名称.....	6	3 上棧の取付け.....	16
■確認事項.....	7	4 部材の組み立て(背面部パネル).....	18
■基本タイプ.....	7	5 端部方立の取付け.....	18
■連棟タイプ.....	8	6 中棧・下棧の取付け.....	19
1 基礎寸法の確認.....	9	7 横棧固定金具・コーナー金物の取付け.....	20
■事前準備.....	10	8 背面部パネルの取付け.....	21
■連結部の穴加工・スリーブの取付け.....	10	9 コーナー金物・後枠キャップの取付け.....	21
■側枠の加工(端部柱取付け用).....	10	■側面部パネルの施工.....	22
■端部柱の組立て.....	11	1 端部柱の建て込み.....	22
■本体の施工.....	12	2 コーナー柱固定金具の取付け.....	22
■基本の場合.....	12	3 部材の組み立て(側面部パネル).....	23
■連棟の場合.....	12	4 パネルの組み立て.....	23
		5 側面部パネルの固定.....	24

表示マーク



独立基礎で施工の場合

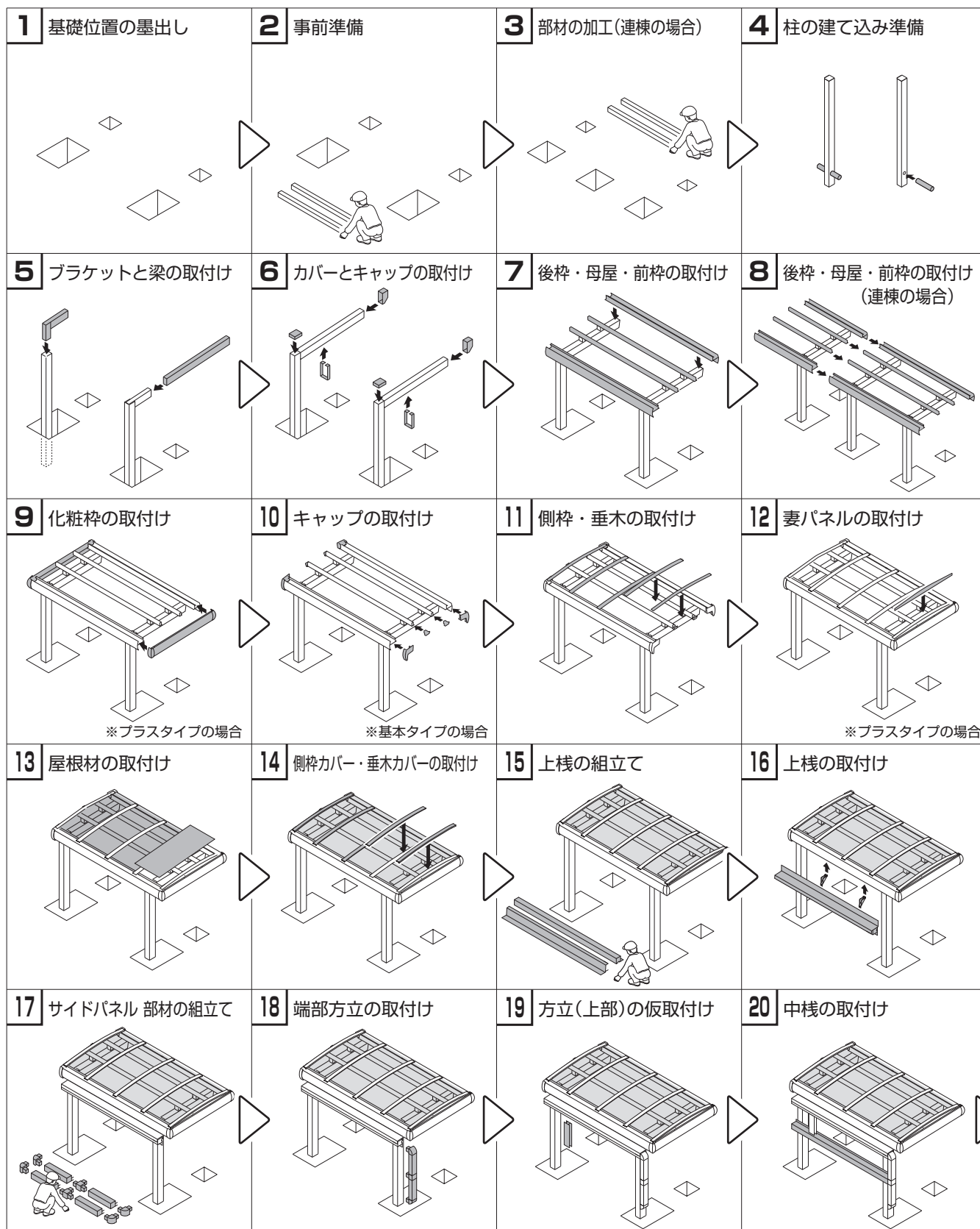


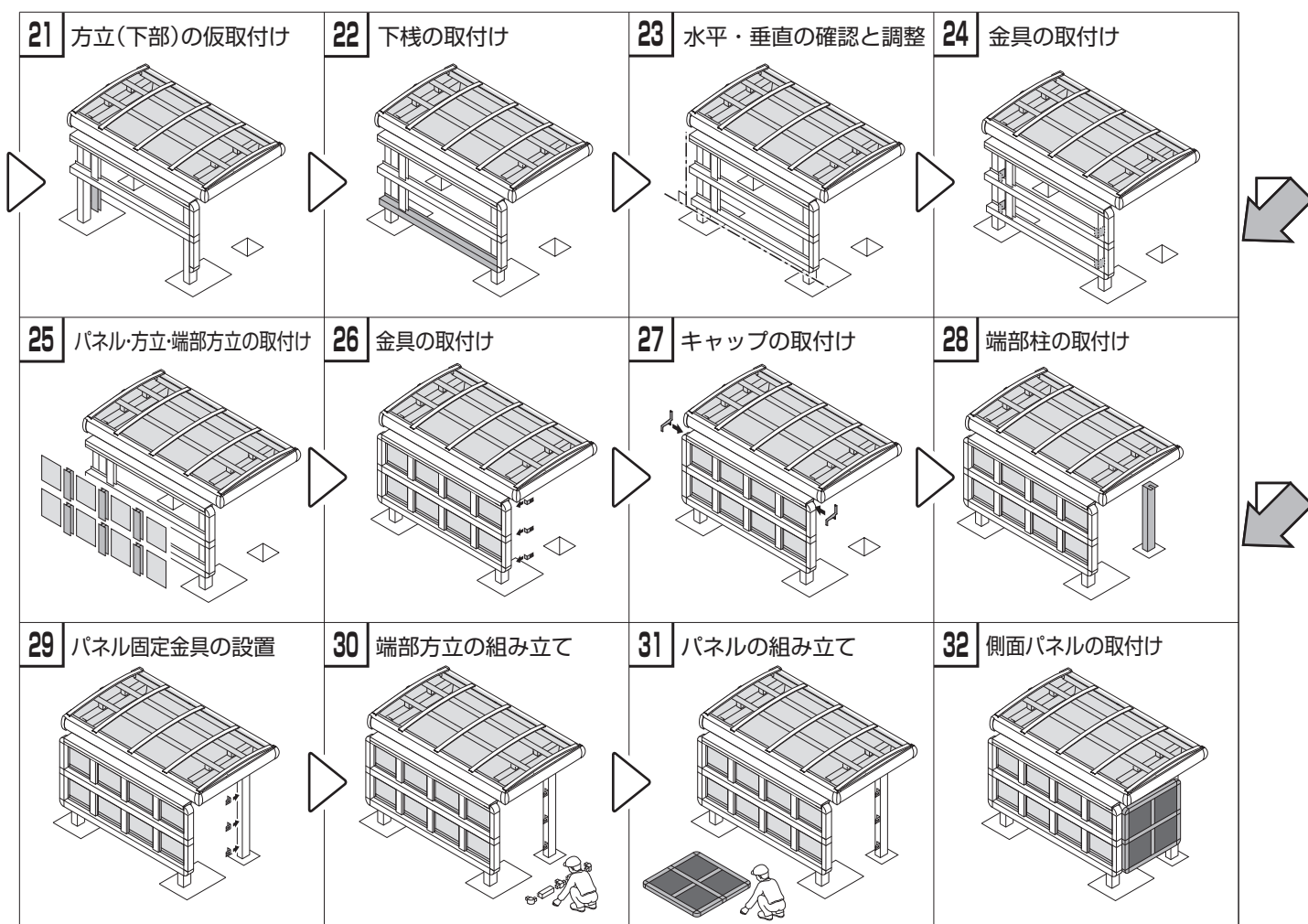
偏芯基礎部材を使用して
施工する場合



「連棟」を施工する場合

施工の流れ





梱包明細表

※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

お願い

【カーポート本体・縦連棟部材に関する梱包は】

・下記取付説明書を参照してください。

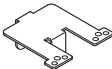
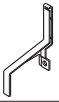
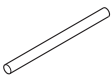
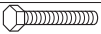
※「フーゴA ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌 取付説明書 (D589)」

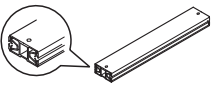
【1】 コーナー柱セット			員数			
名称	略図					
端部柱			1			

【2】 サイドパネルセット			員数		
名称	略図		1枚入	3枚入	4枚入
サイドパネル			1	3	4

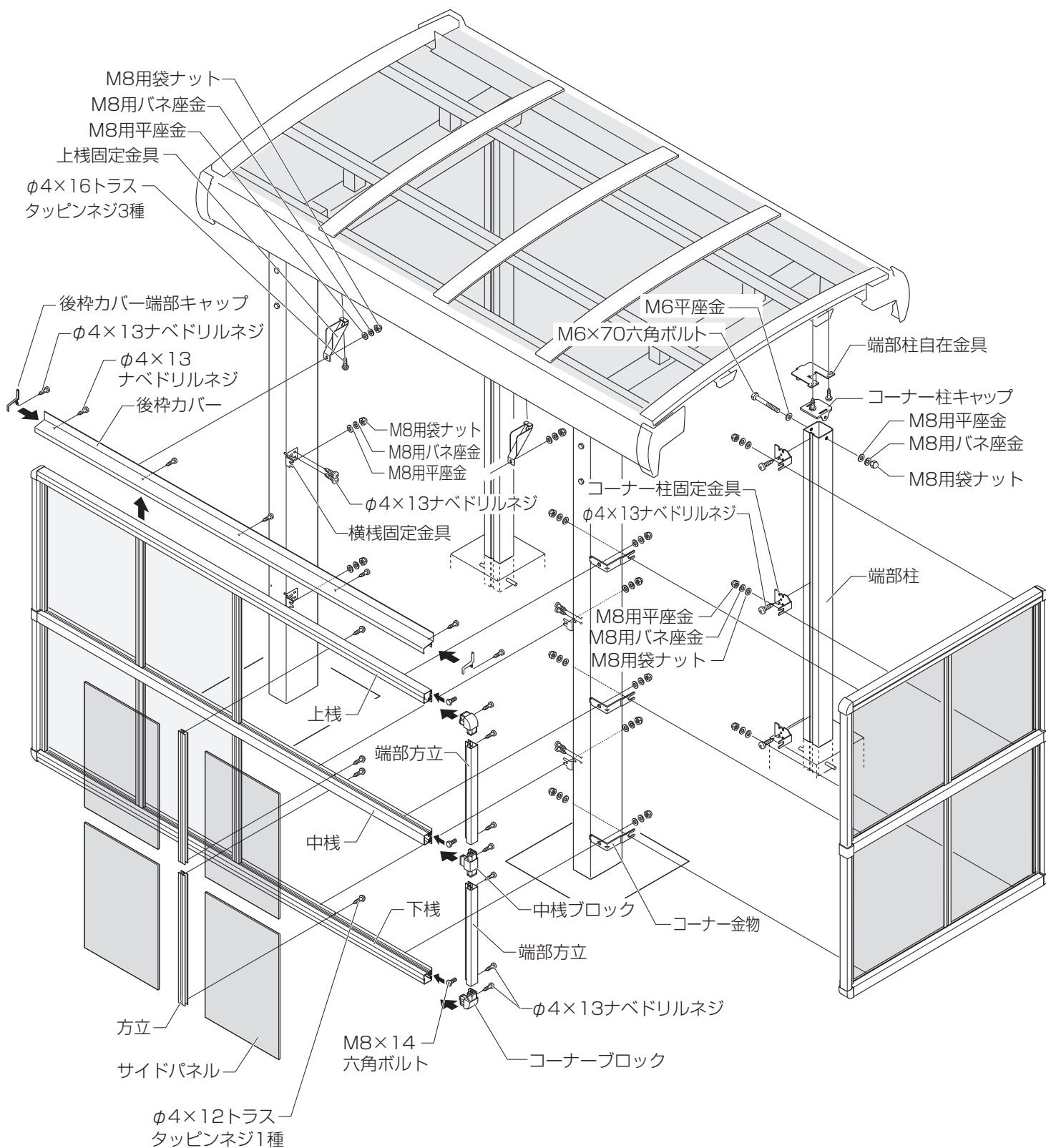
【3】 サイドパネル方立セット		員数		
名称	略図	側面	L22	L29
端部方立		2	2	2
方立		1	2	3

【4】 サイドパネル横桟セット		員数		
名称	略図	側面	L22	L29
後枠カバー		—	1	1
上下桟		2	2	2
中桟		1	1	1

【5】サイドパネル部品セット		員数	
名 称	略 図	側面	L22・29
コーナー金物		3	—
コーナー柱キャップ		1	—
コーナー柱固定金具		3	—
端部柱自在金具		1	—
コーナブロック		左右各2	左右各2
中棧ブロック		2	2
横棧固定金具		—	左右各4
後枠カバー端部キャップ A用		—	左右各1
上棧固定金具 A用		—	2
アンカー棒(φ7×120)		1	—
穴隠しシール(φ15)		—	2
【5-1】 M6×70六角ボルト		1	—
【5-2】 M6用バネ座金		1	—
【5-3】 M6用袋ナット		1	—
【5-4】 M6用平座金		2	—
【5-5】 M8×14六角ボルト		9	10
【5-6】 M8用バネ座金		9	10
【5-7】 M8用袋ナット		9	10
【5-8】 M8用平座金		9	10
【5-9】 φ4×12トラスタッピンネジ1種		4	13
【5-10】 φ4×16トラスタッピンネジ3種		—	2
【5-11】 φ4×13ナベドリルネジ		15	38
【5-12】 φ4×19ナベドリルネジ		3	—
【5-13】 φ5×13ナベドリルネジ		2	—
取付説明書 <D613>	—	1	—
取付説明書 <D603>	—	—	1

【6】サイドパネル連棟部品セット		員数	
名 称	略 図		
連結金物(上下棧用)		2	
連結金物(中棧用)		1	
連棟用ジョイント裏板		3	
横棧固定金具		左右各4	
上棧固定金具 A用		4	
穴隠しシール(φ15)		4	
【6-1】 M6×10トラス小ネジ		6	
【6-2】 M6用バネ座金		6	
【6-3】 M6用平座金		6	
【6-4】 M8×14六角ボルト		12	
【6-5】 M8用バネ座金		12	
【6-6】 M8用袋ナット		12	
【6-7】 M8用平座金		12	
【6-8】 φ4×12トラスタッピンネジ1種		30	
【6-9】 φ4×16トラスタッピンネジ3種		4	
【6-10】 φ4×13ナベドリルネジ		29	
【7】サイドパネル連棟用方立セット		員数	
名 称	略 図	L22	L29
方立		3	4

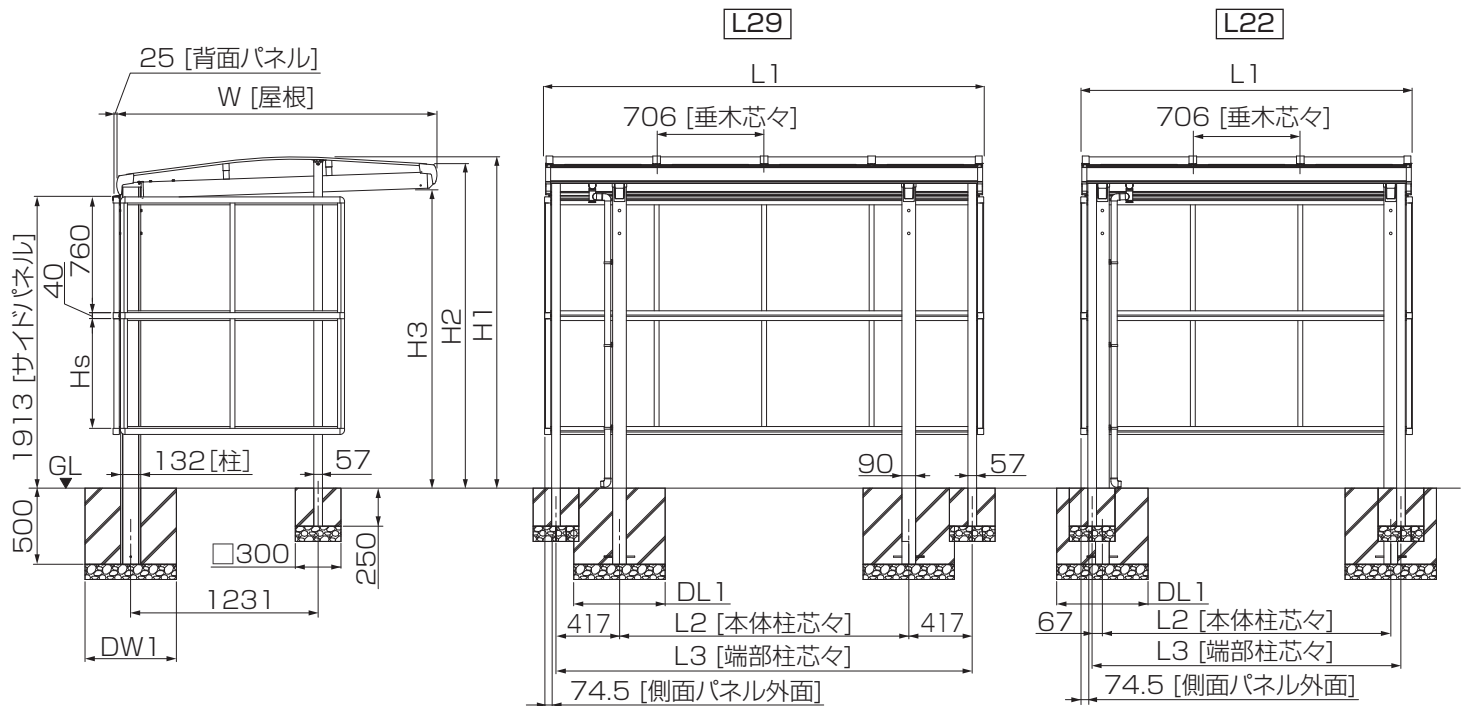
各部の名称



確認事項

基本タイプ

姿図

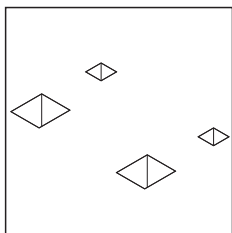


	W	H1	H2	H3
W18	1800	2171	2111	1959
W21	2099	2175	2121	1970

パネル高	Hs
H800	760
H1000	960

タイプ	奥行	L1	L2	L3
基本	L22	2158	1894	2028
	L29	2864	1900	2734
プラス	L22	2197	1894	2028
	L29	2903	1900	2734

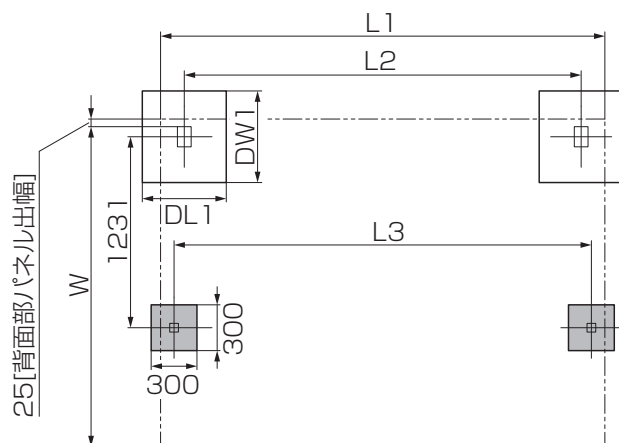
基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



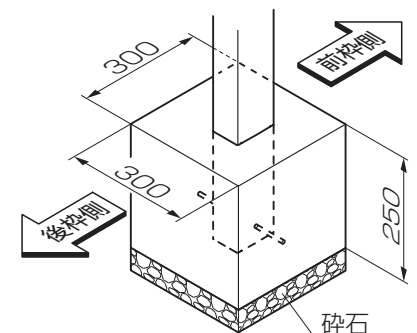
本体の柱基礎寸法「DW1」「DL1」は、「P.9」を参照してください。



お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

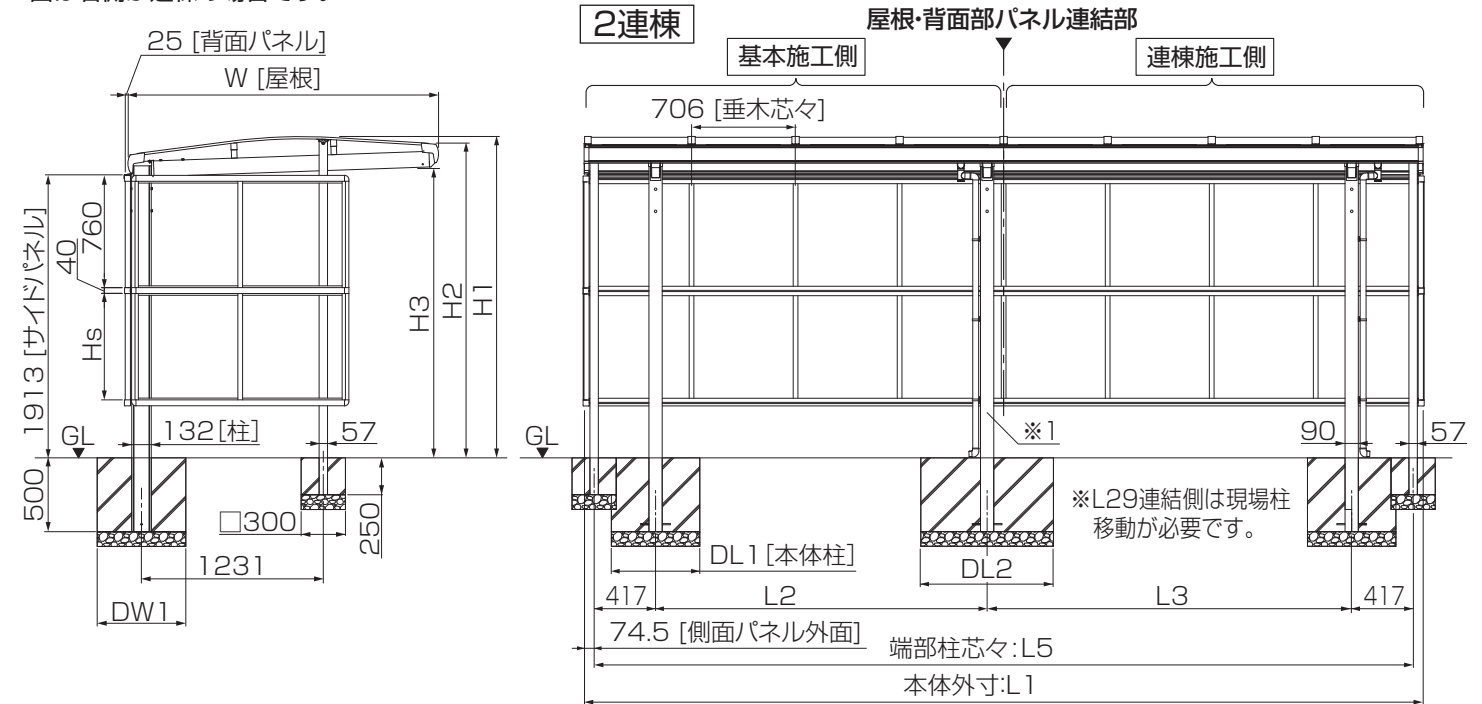
【端部柱 基礎寸法】



■ 連棟タイプ

□ 姿図

※図は右側が連棟の場合です。

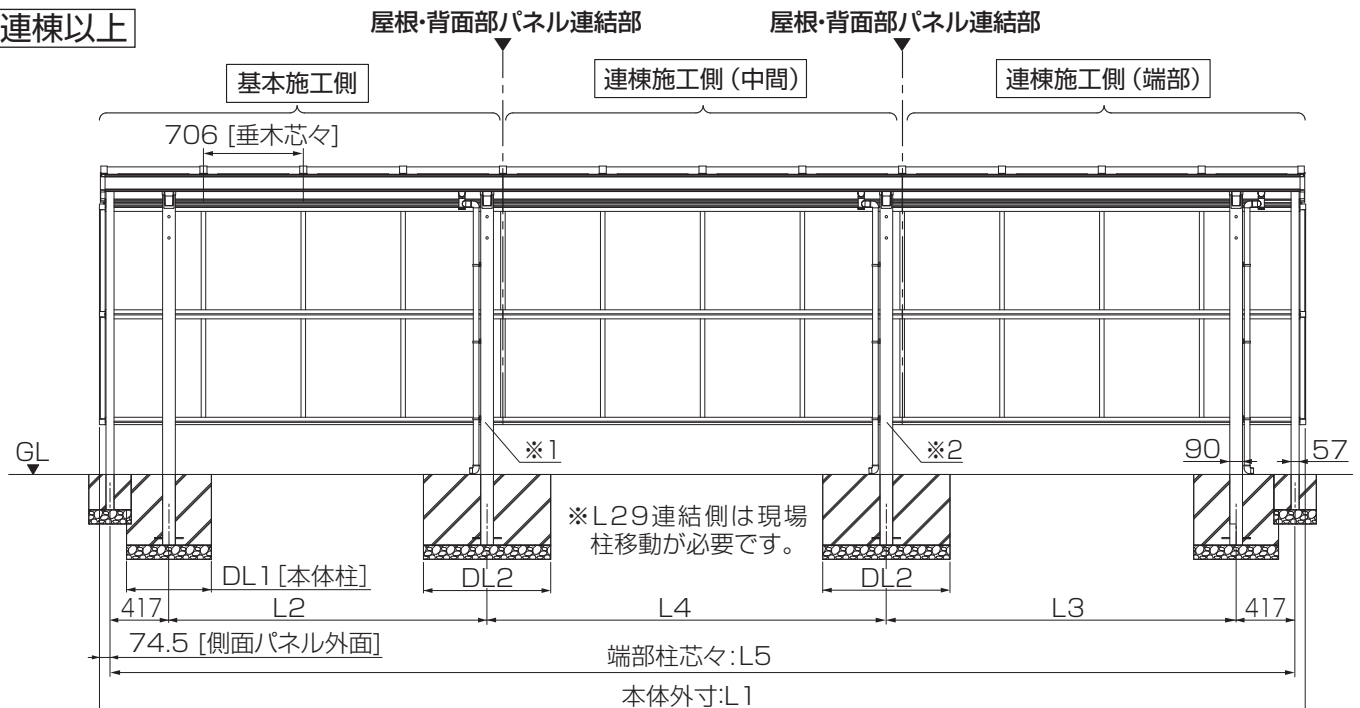


	W1	H1	H2	H3
W18	1800	2171	2111	1959
W21	2099	2175	2121	1970

パネル高	Hs
H800	760
H1000	960

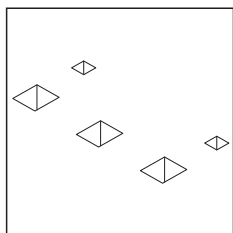
奥行	奥行	L1	L2	L3	L4	L5
基本	L22+L22	4276	1894	2118	—	4146
	L29+L29	5688	2250	2474	—	5588
	L22×n	4276+2118(n-2)	1894	2118	2118	4146+2118(n-2)
	L29×n	5688+2824(n-2)	2250	2474	2824	5588+2824(n-2)
プラス	L22+L22	4315	1894	2118	—	4146
	L29+L29	5727	2250	2474	—	5588
	L22×n	4315+2118(n-2)	1894	2118	2118	4146+2118(n-2)
	L29×n	5727+2824(n-2)	2250	2474	2824	5588+2824(n-2)

3連棟以上



- ※1：L29を基本施工側とした場合はL29の連結側の柱を現場加工にて移動してください。
 ※2：L29を連棟施工側(中間)にした場合はL29の連結側の柱を現場加工にて移動してください。
 ※：L22は現場柱移動(加工)はありません。

□ 基礎の墨出し



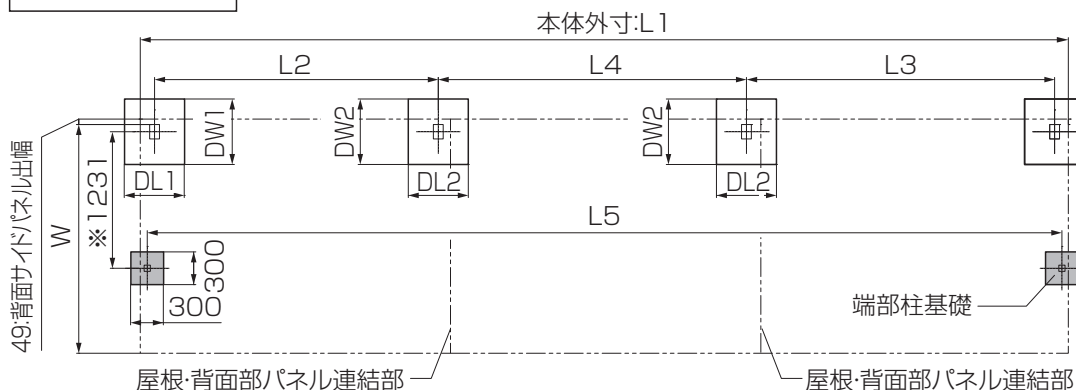
①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



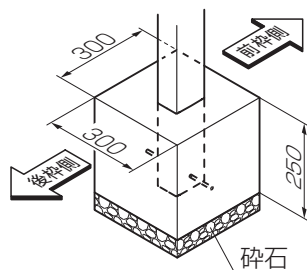
本体の柱基礎寸法「DW1」「DL1」「DW2」「DL2」は、
「P.9」を参照してください。

お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

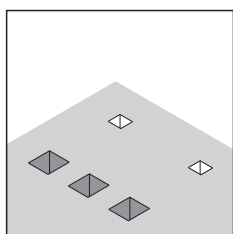


【端部柱 基礎寸法】



※ 端部柱を移動する場合は母屋と20mm以上離してください。
その際側枠カバー取付ネジと端部柱・側枠取付けネジが干渉しない位置にしてください。

1 基礎寸法の確認



①基礎穴寸法を確認してください。

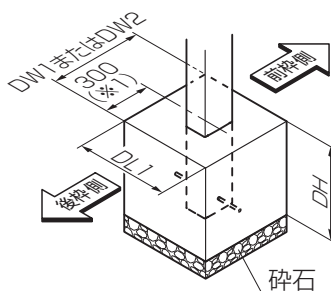
基礎サイズ

<地耐力100 kN/m²の場合>

単体		DW1	DL1	DW2	DL2	DH
	W18	500	550	—	—	500
2連棟以上	W21	600	600	—	—	500
	W18	500	550	900	800	500
2連棟以上	W21	600	600	1000	900	500



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。



お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

補 足

(※1)は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法で、
DW1、DW2が600mm以上の場合です。600mm未満
の場合はDWの半分の数値としてください。



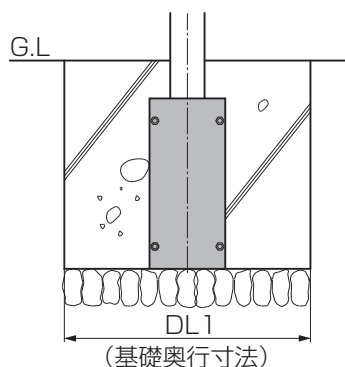
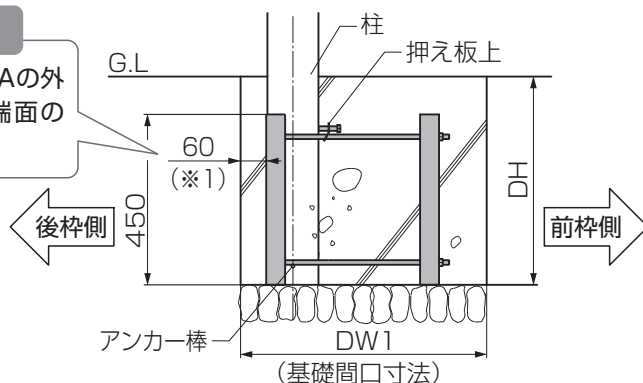
【偏心基礎部材】を取付ける場合の作業です。



組立て方法、基本寸法については
【偏心基礎部材 取付説明書 (D349)】も参照してください。

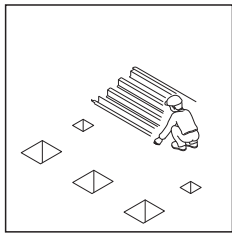
補 足

※1はタテ材Aの外
面から基礎端面の
寸法です。



事前準備

■ 連結部の穴加工・スリーブの取付け

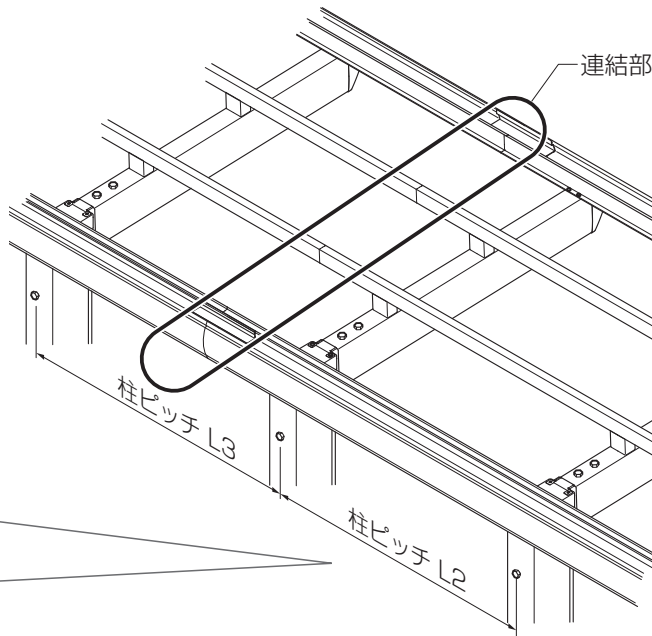
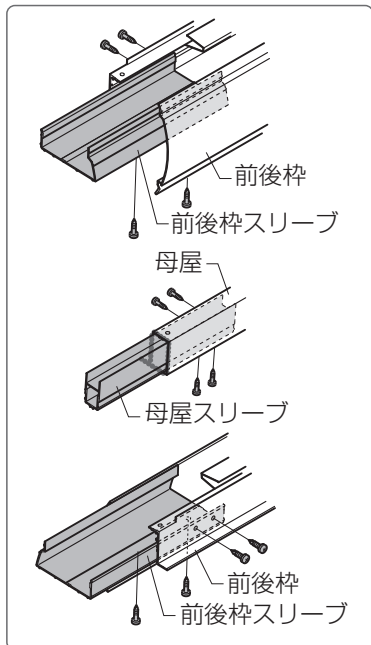


【連棟】の場合の作業です。

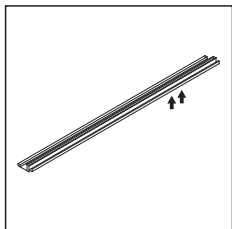


連結部の穴加工・スリーブの取付けは「フーゴA ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書〈D589〉」も参照してください。

- ①前枠・母屋・後枠に連結用の穴加工をしてください。
- ②柱ピッチL2側の前枠・母屋・後枠にスリーブを取付けてください。



■ 側枠の加工(端部柱取付け用)

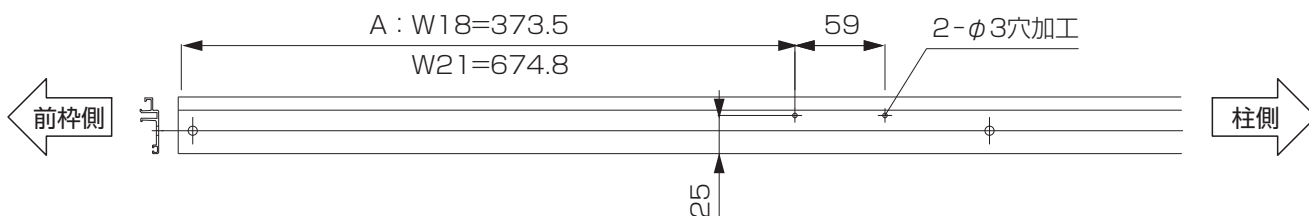


- ①側枠に穴加工をしてください。

補 足

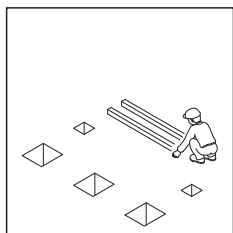
本手順は、パーク本体施工前に行なってください。

W18	373.5
W21	674.8

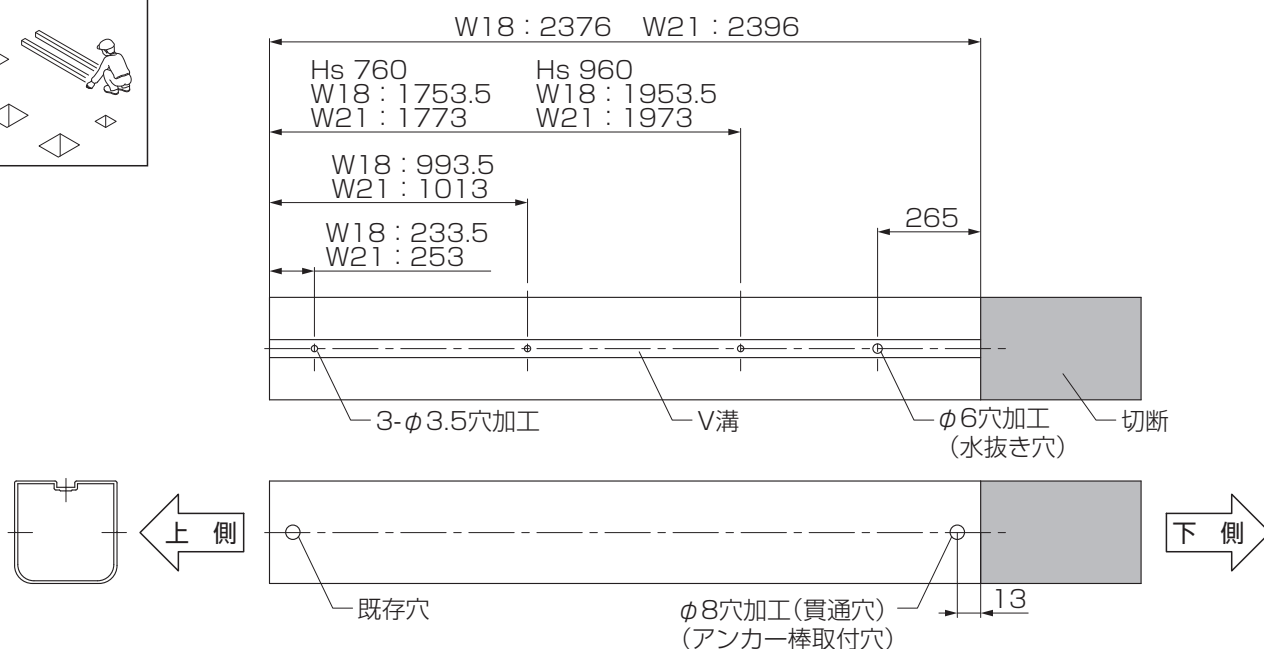


■ 端部柱の組立て

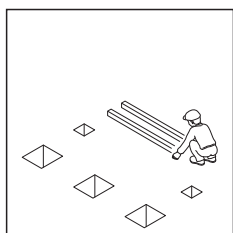
□ 端部柱の加工



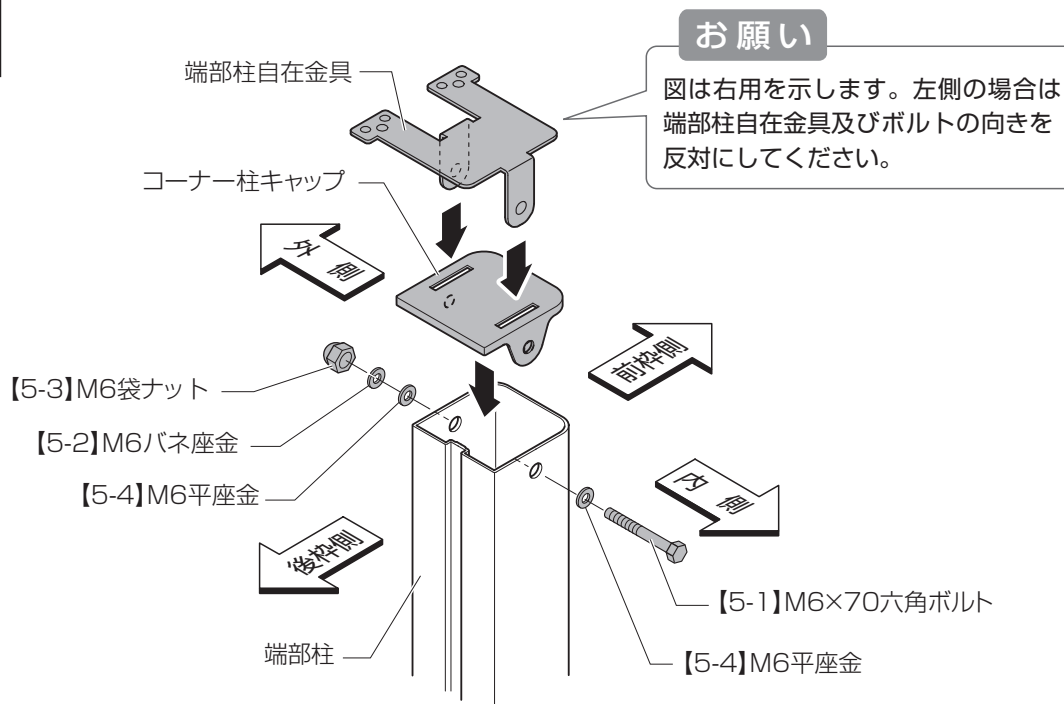
①端部柱を加工してください。



□ 上部部品の取付け

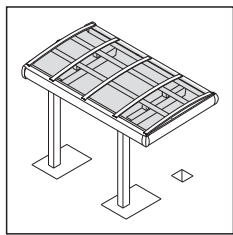


①コーナー柱キャップ、端部柱自在金具を端部柱に【5-1】【5-2】【5-3】【5-4】で取付けてください。



本体の施工

■ 基本の場合



①カーポート本体を施工してください。



「フーゴA ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌
取付説明書〈D589〉」を参照してください。

■ 連棟の場合



【連棟】の場合
の作業です。

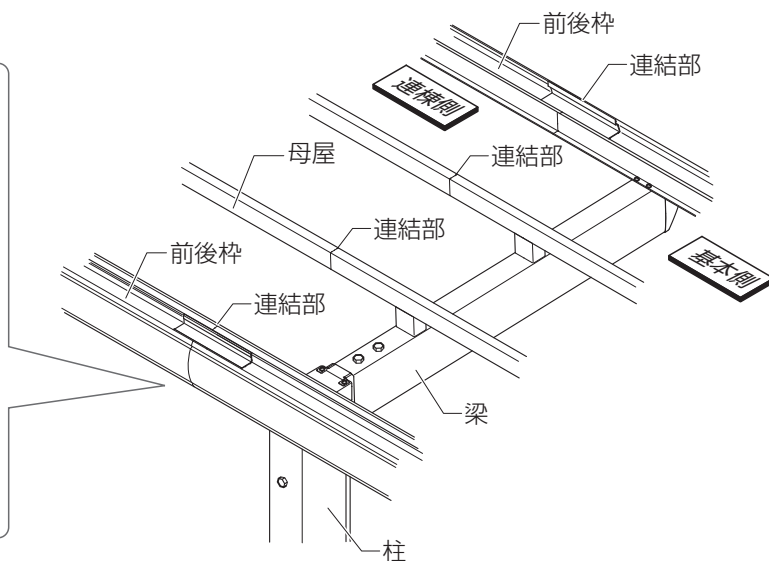
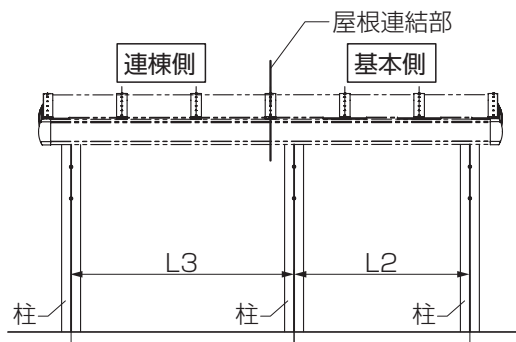


連棟施工の場合は「フーゴA ミニ・1台用 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書〈D589〉」も参照してください。

1 連棟部の確認

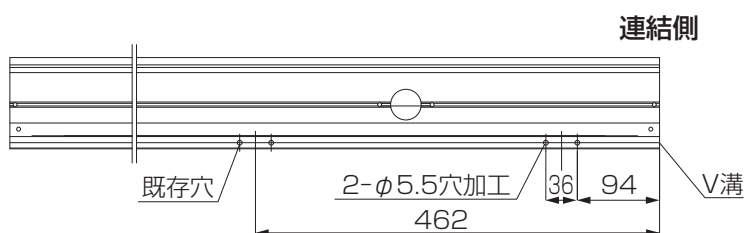
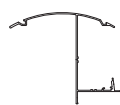
補 足

パーク仕様での縦連棟の場合は、連結部の柱の施工および基礎サイズがカーポート連棟仕様と異なります。

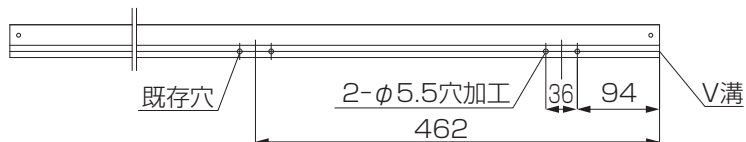


2 前後枠・母屋の加工(L29連棟の場合)

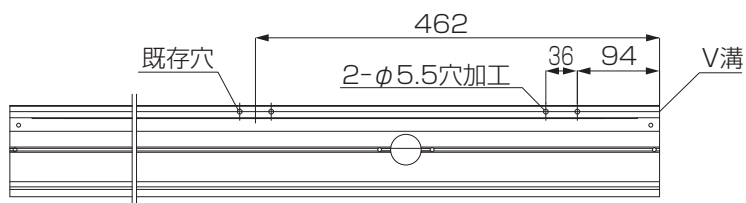
【前後枠(柱側)】



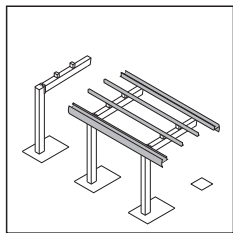
【母屋】



【前後枠(前側)】

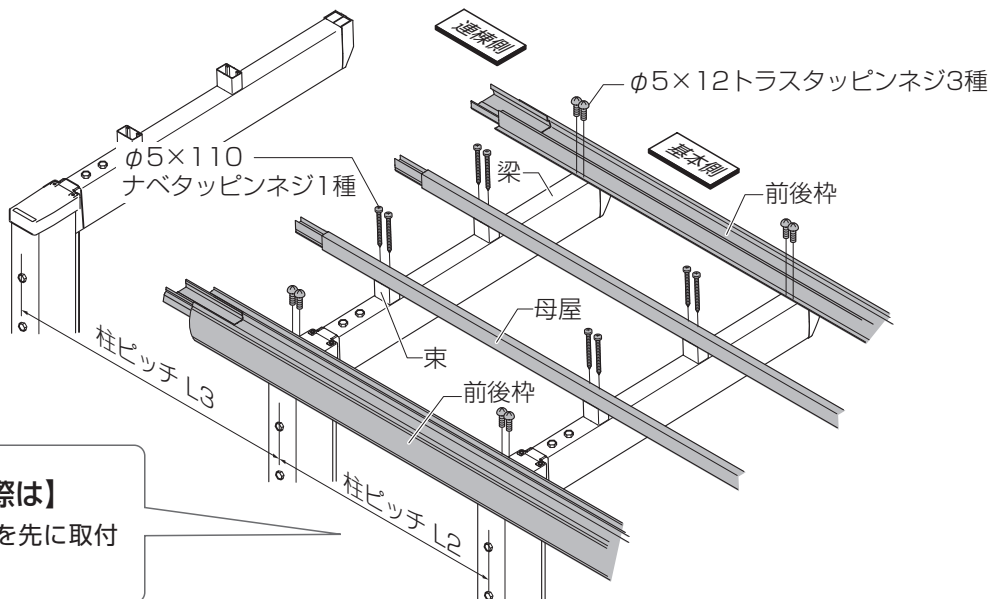


3 前後枠・母屋の取付け(基本側)



柱の建て込み準備～柱梁カバー・梁キャップまでの手順は「フーゴA ミニ・1台用基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書(D589)」を参照してください。

- ①スリーブを取付けた前後枠を梁に「 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種」で取付けてください。
- ②スリーブを取付けた母屋を束に「 $\phi 5 \times 110$ ナベタッピンネジ1種」で取付けてください。

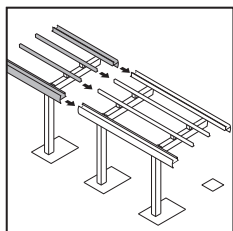


お願い

【前後枠・母屋を取付ける際は】

柱ピッチL2側の前後枠・母屋を先に取付けてください。

4 前後枠・母屋の取付け(連棟側)



- ①前後枠・母屋の連結部にシーリングをしてください。
- ②連棟側の前後枠・母屋をスリーブに「 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ③連棟側の前後枠を梁に「 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種」で取付けてください。
- ④連棟側の母屋を束に「 $\phi 5 \times 110$ ナベタッピンネジ1種」で取付けてください。

【前後枠を連結する際は】

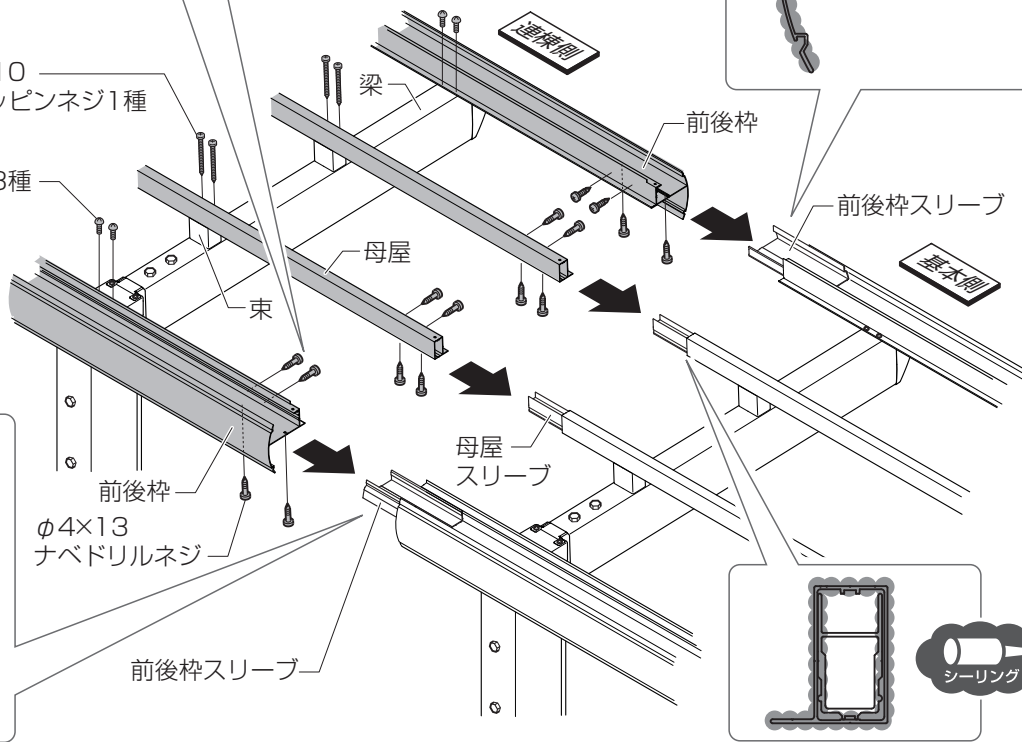
$\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジにシーリングをした後固定してください。



シーリング

$\phi 5 \times 110$
ナベタッピンネジ1種

$\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種

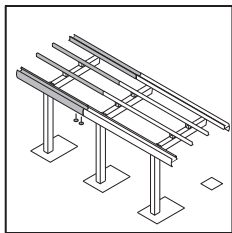


シーリング

シーリング

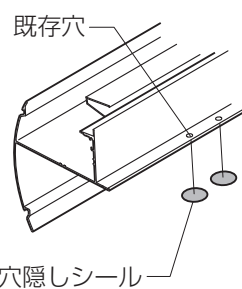
シーリング

5 連棟部穴隠しシールの貼付け

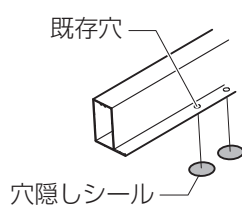


①穴隠しシールを柱・梁にのらない前後桷・母屋の連結部既存穴に貼付けてください。

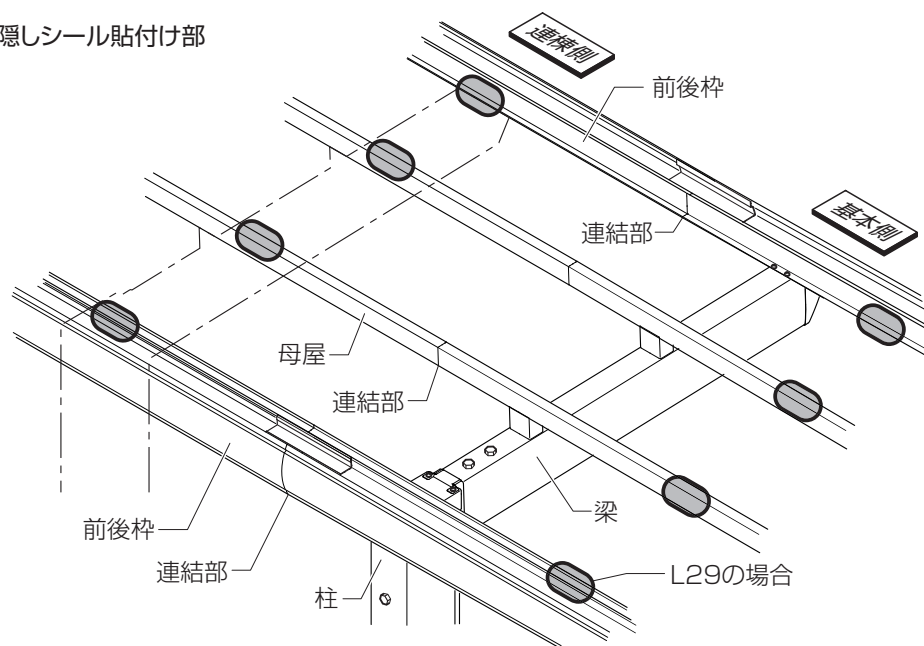
【前後桷】



【母屋】

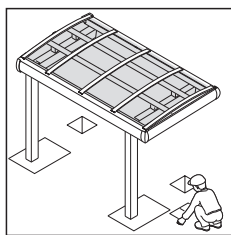


●：穴隠しシール貼付け部



背面部パネルの施工

1 ボルトの挿入本数・挿入箇所の確認



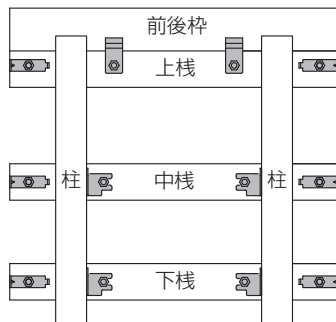
①上棧、中棧、下棧へ取付ける金具と挿入するボルト【5-5】又は【6-4】の位置・数量を確認してください。

■：上棧固定金具

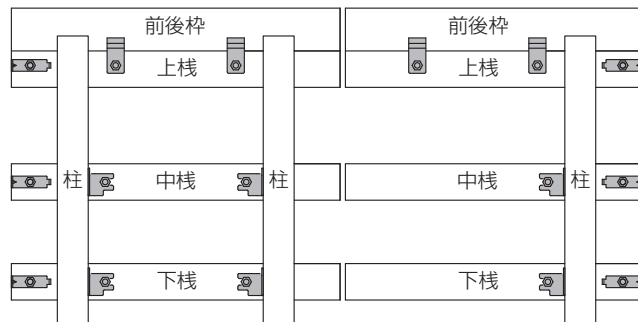
■：横棧固定金具

■：コーナー金物

【基本施工】



【連棟施工】



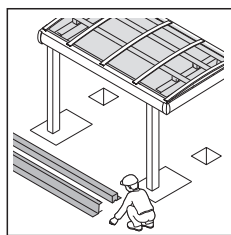
基本施工

	上棧	中棧	下棧
コーナー金具用	2	2	2
上棧固定金具用	2	—	—
横棧固定金具用	—	2	2
合計(ボルト挿入本数)	4	4	4

連棟施工

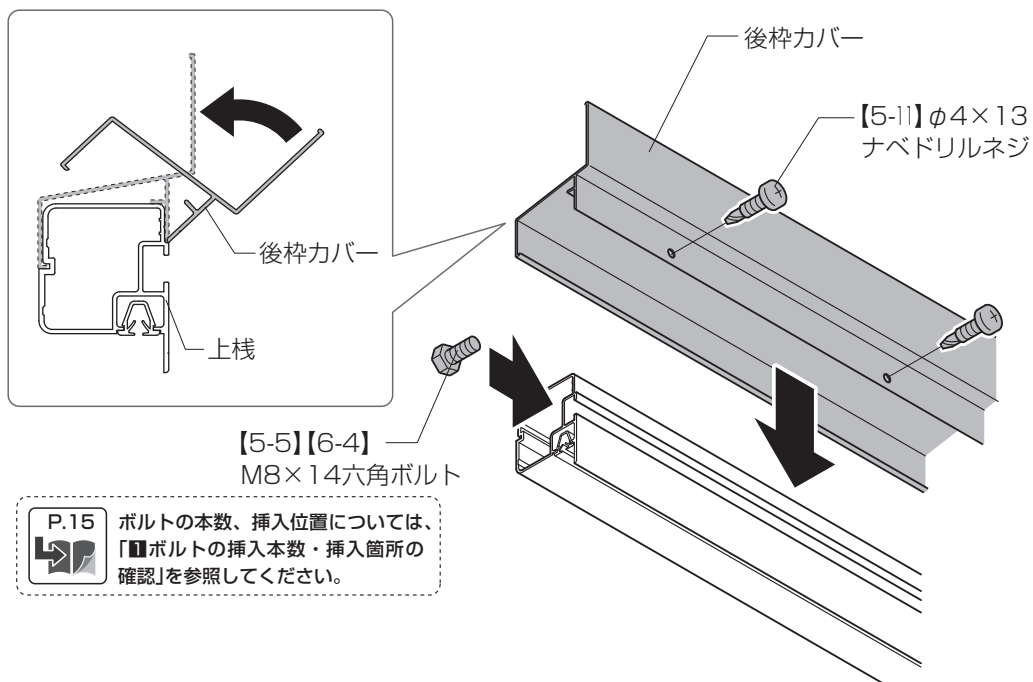
	基本			連棟中間			連棟端部		
	上棧	中棧	下棧	上棧	中棧	下棧	上棧	中棧	下棧
コーナー金具用	1	1	1	—	—	—	1	1	1
上棧固定金具用	2	—	—	2	—	—	2	—	—
横棧固定金具用	—	2	2	—	1	1	—	1	1
合計(ボルト挿入本数)	3	3	3	2	1	1	3	2	2

2 上棧の組み立て



①後枠カバーを上棧に【5-11】で取付けてください。

②上棧に【5-5】又は【6-4】を挿入してください。



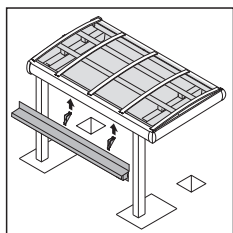
P.15



ボルトの本数、挿入位置については、「**1** ボルトの挿入本数・挿入箇所の確認」を参照してください。

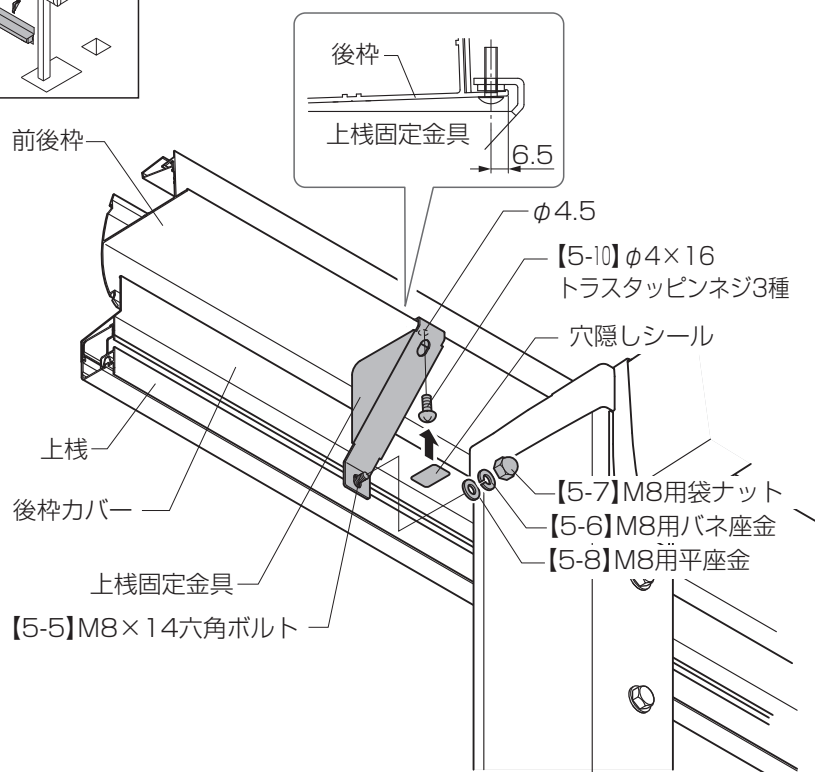
3 上棧の取付け

□ 基本の場合



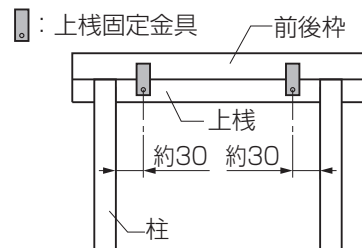
①前後枠にφ4.5の下穴をあけ、上棧固定金具を前後枠に【5-10】で取付けてください。

②上棧に挿入した【5-5】に上棧固定金具を【5-6】【5-7】【5-8】で固定してください。



お願い

上棧固定金具は上棧1本に対して2個
下図の位置に取付けてください。

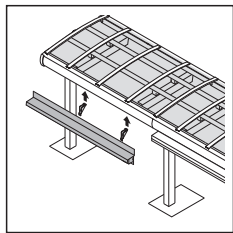


MEMO

□ 連棟の場合



【連棟】の場合
の作業です。

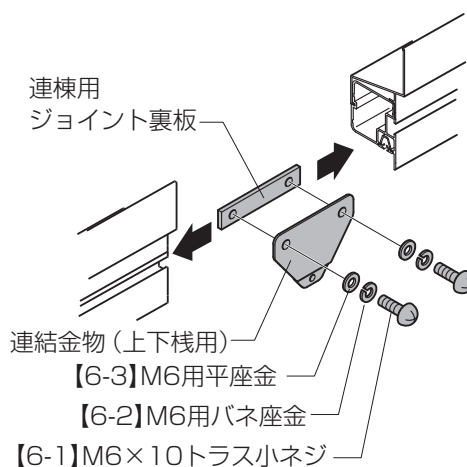
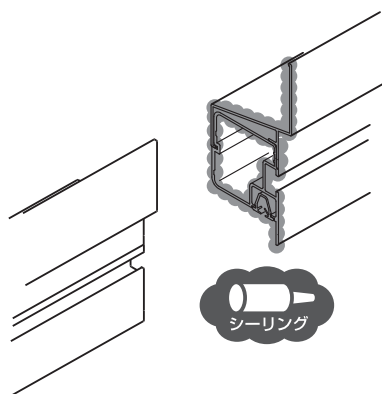
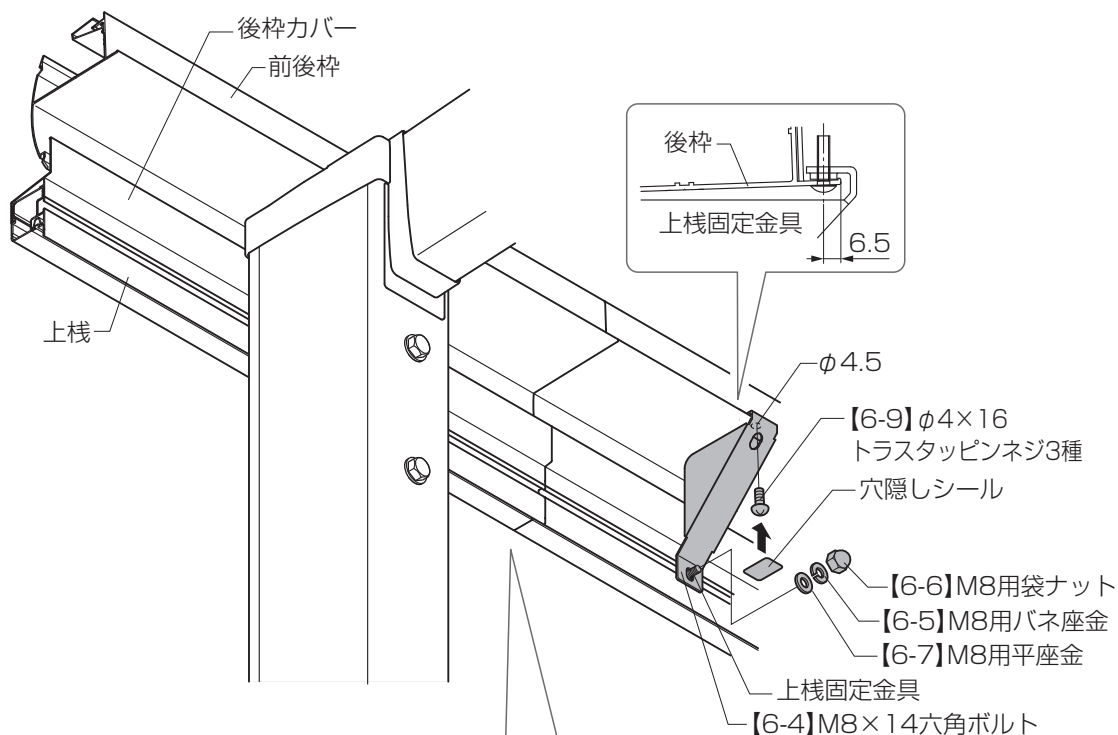
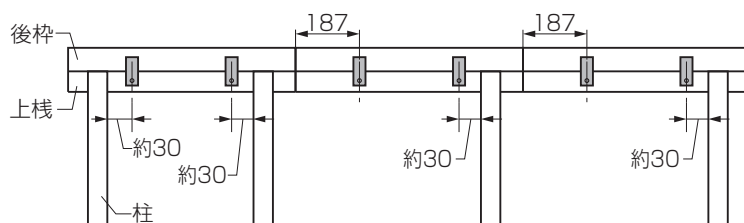
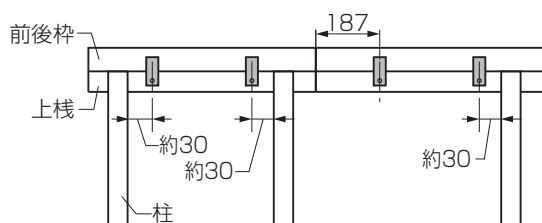


- ① 後枠カバーの連結部にシーリングをしてください。
- ② 上栈の連結部に連棟用ジョイント裏板を挿入し、連結金物(上下栈用)を【6-1】【6-2】【6-3】で取付け、上栈を連結してください。
- ③ 前後枠に上栈固定金具を使い、写し穴で $\phi 4.5$ の下穴をあけ、上栈固定金具を前後枠に【6-9】で固定してください。
- ④ 上栈に挿入した【6-4】に上栈固定金具を【6-5】【6-6】【6-7】で取付けてください。

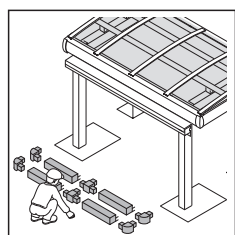
お願い

上栈固定金具は上栈1本に対して2個下図の位置に取付けてください。

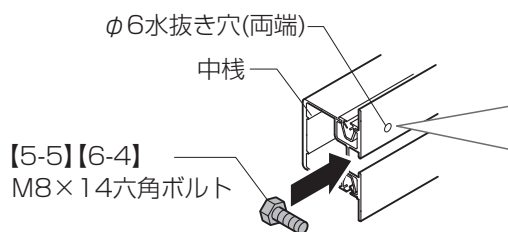
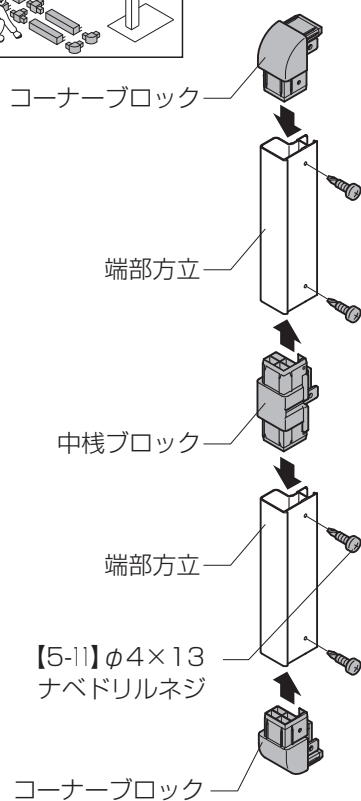
■：上栈固定金具



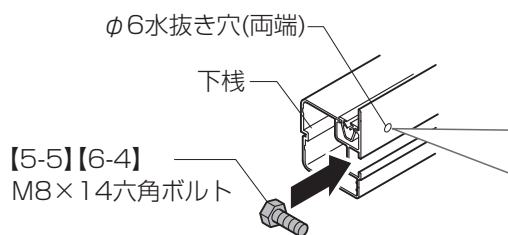
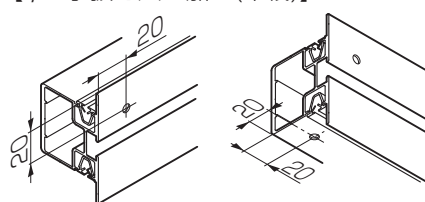
4 部材の組み立て(背面部パネル)



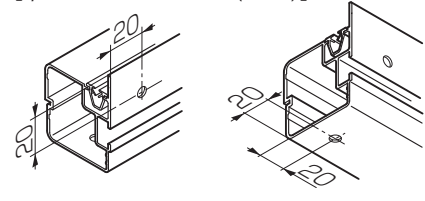
- ①コーナーブロック・中棧ブロックを端部方立に【5-11】で取付けてください。
- ②中棧と下棧にφ6の水抜き穴をあけてください。
- ③中棧・下棧に【5-5】又は【6-4】を挿入してください。



【φ6水抜き穴の加工(中棧)】

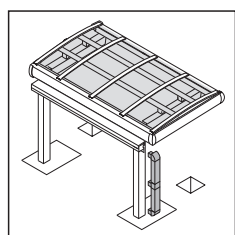


【φ6水抜き穴の加工(下棧)】

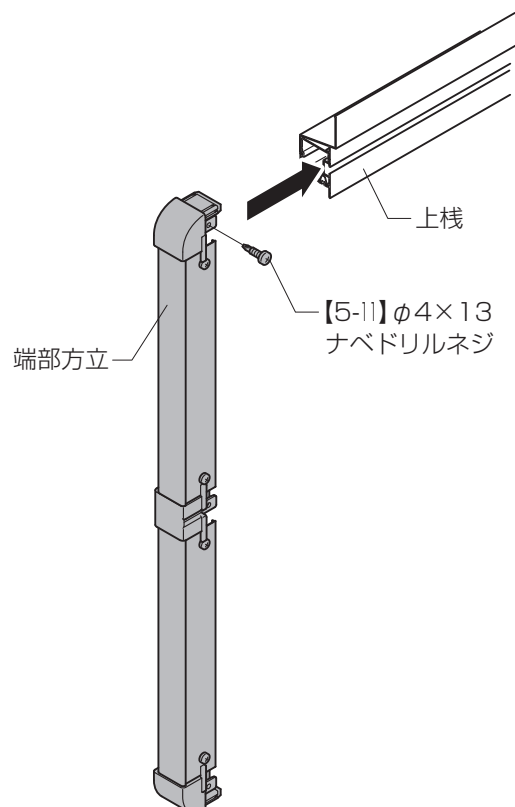


P.15
ボルトの本数、挿入位置については、
「**■**ボルトの挿入本数・挿入箇所の確認」を参照してください。

5 端部方立の取付け

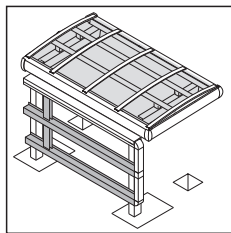


- ①上棧の片側に端部方立を【5-11】で取付けてください。

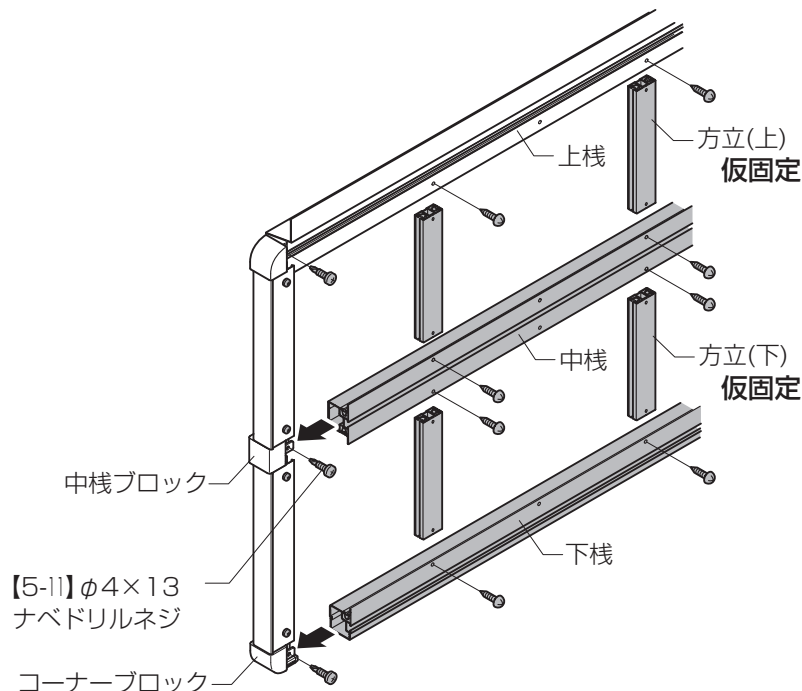


6 中棧・下棧の取付け

□ 基本の場合



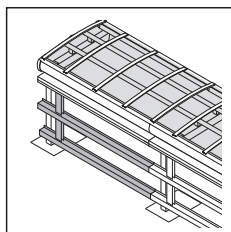
- ①方立(上)を上棧に【5-9】で仮固定してください。
- ②中棧を中棧ブロックに【5-11】で取付け、中棧と方立(上)を【5-9】で仮固定してください。
- ③方立(下)を中棧に【5-9】で仮固定してください。
- ④下棧をコーナブロックに【5-11】で取付け、下棧と方立(下)を【5-9】で仮固定してください。



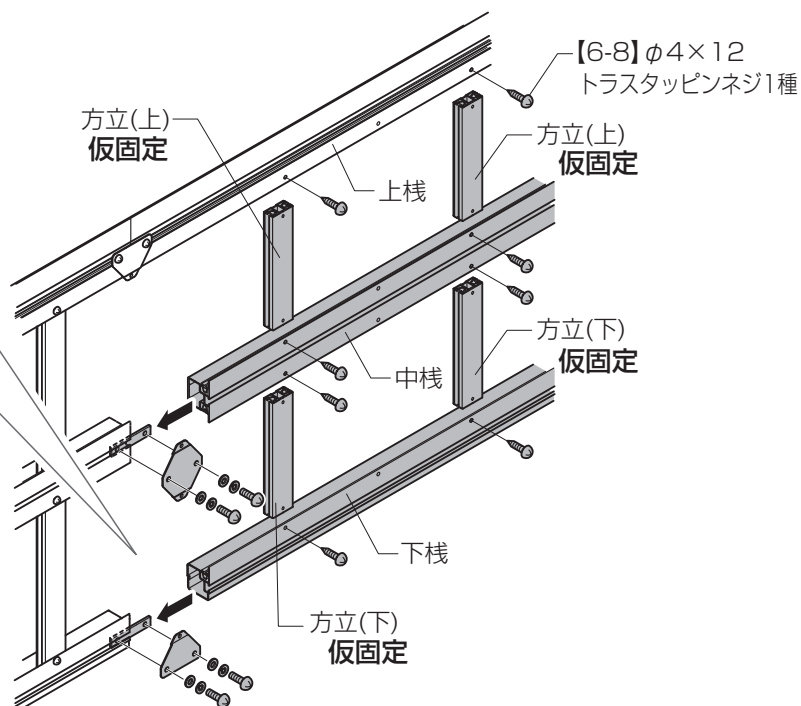
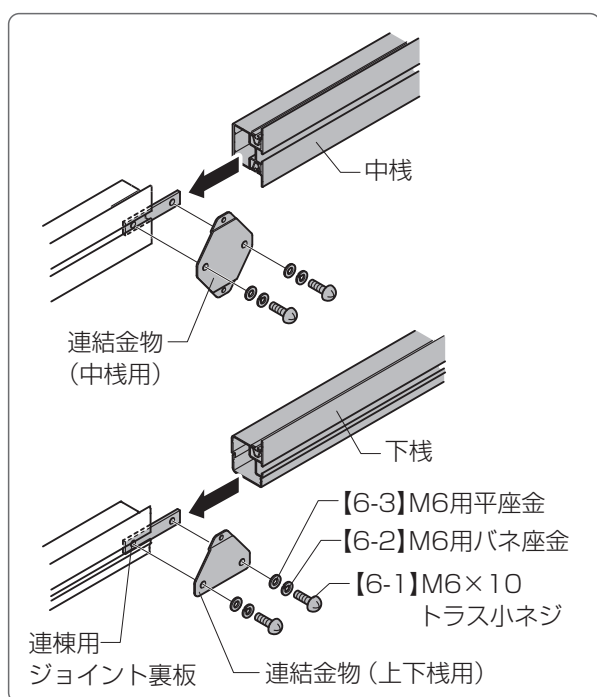
□ 連棟の場合



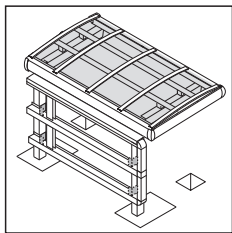
【連棟】の場合
の作業です。



- ①方立(上)を上棧に【6-8】で仮固定してください。
- ②連棟用ジョイント裏板を中棧に挿入し、中棧と連結金物(中棧用)を【6-1】【6-2】【6-3】で取付け、中棧と方立(上)を【6-8】で仮固定してください。
- ③方立(下)を中棧に【6-8】で仮固定してください。
- ④連棟用ジョイント裏板を下棧に挿入し、下棧と連結金物(上下棧用)を【6-1】【6-2】【6-3】で取付け、下棧と方立(下)を【6-8】で仮固定してください。



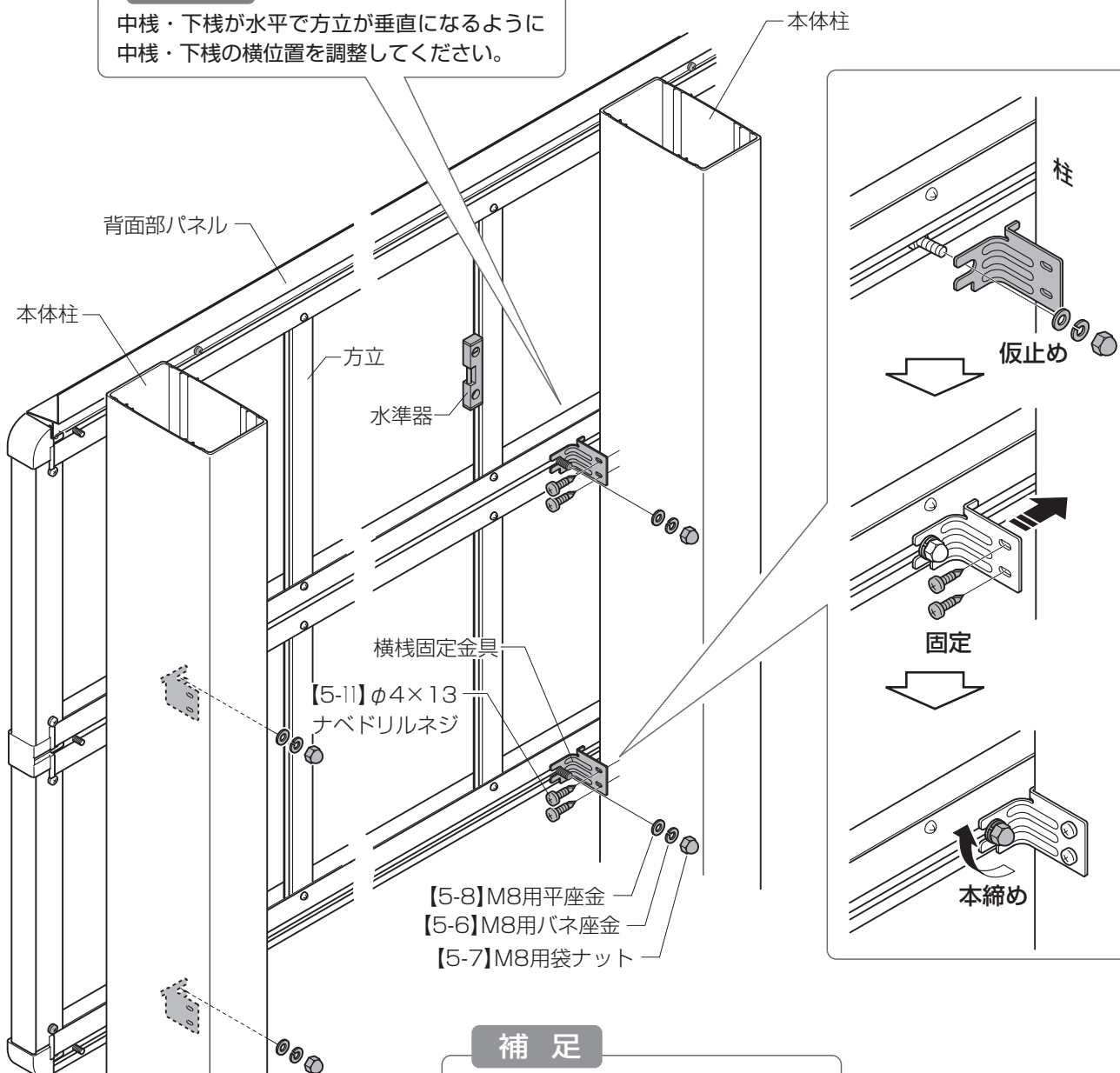
7 横棧固定金具の取付け



- ① 本体柱部の横棧固定金具を中棧・下棧に【5-6】【5-7】【5-8】で仮止めしてください。
- ② 本体柱部の横棧固定金具を柱に【5-11】で取付けてください。
- ③ 手順①で仮止めした【5-6】【5-7】【5-8】を本締めしてください。

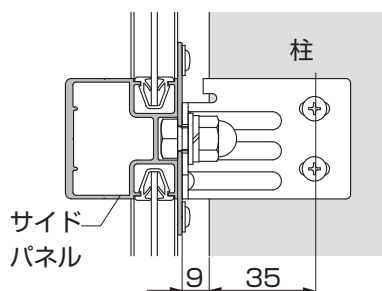
お願い

中棧・下棧が水平で方立が垂直になるように
中棧・下棧の横位置を調整してください。

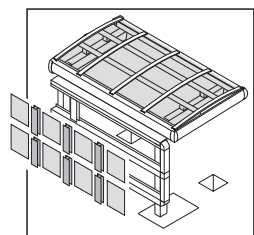


補足

横棧固定金具は柱背面から35mmの
位置でネジ固定します。



8 背面部パネルの取付け

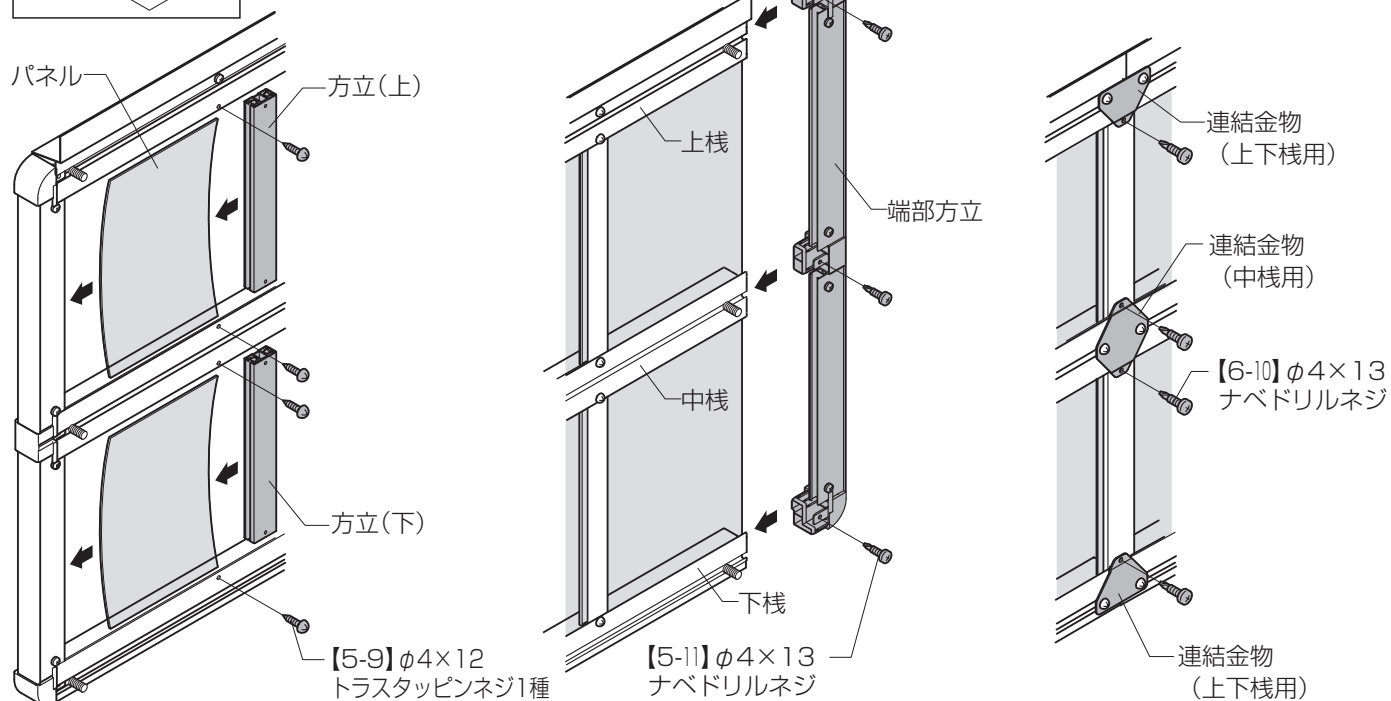


- ①仮止めしていた方立を取外してください。
- ②パネルをわん曲させながら端部方立に差し込んでください。
- ③方立(上)をスライドさせながらサイドパネルに差し込んでください。

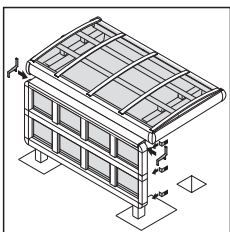
- ④下段も同様に取付けてください。
- ⑤端部方立を上棧、中棧、下棧に【5-11】で取付けてください。

【連棟の場合】

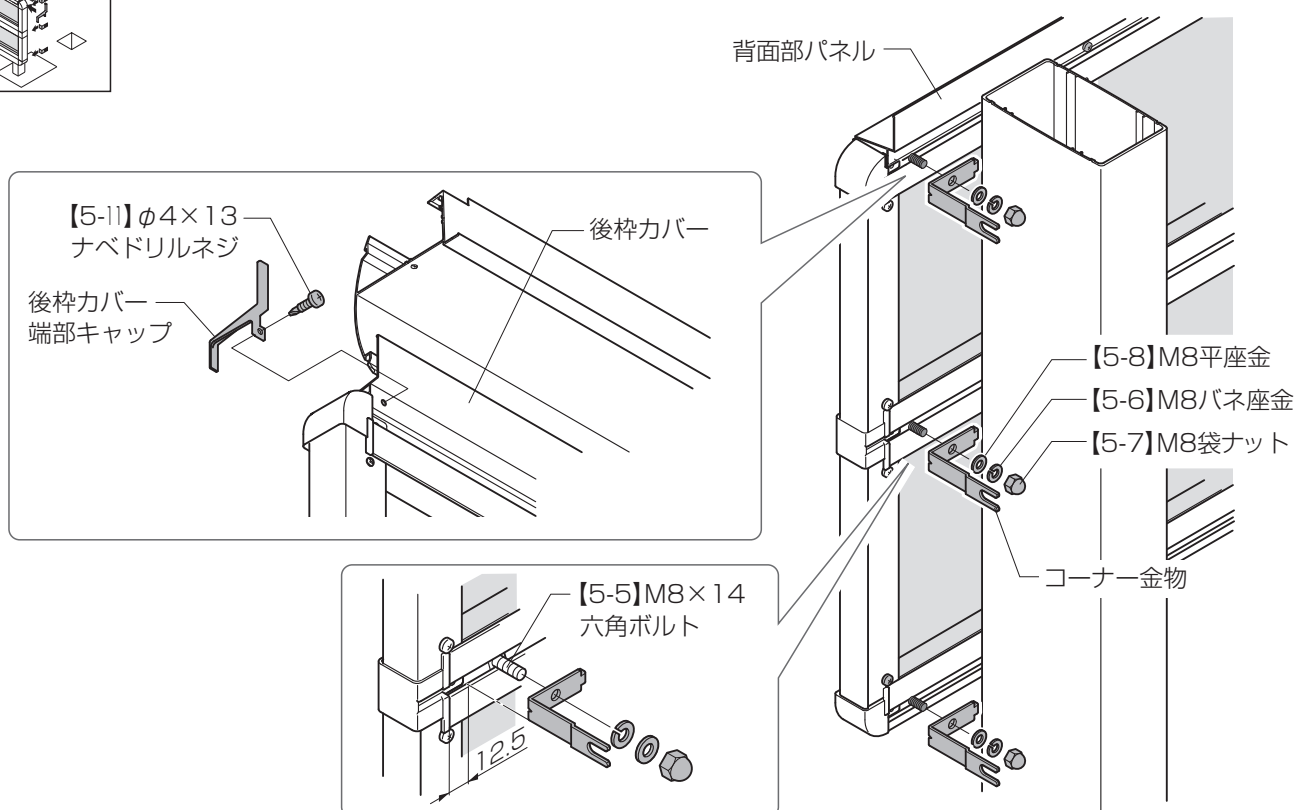
- ⑥連結金物(上下棧用)と連結金物(中棧用)を【6-10】で固定してください。



9 コーナー金物・後枠キャップの取付け

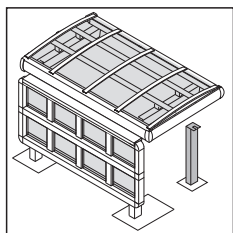


- ①コーナー金物を上棧・中棧・下棧に挿入した【5-5】に【5-6】【5-7】【5-8】で取付けてください。
- ②後枠カバー端部キャップを【5-11】で取付けてください。

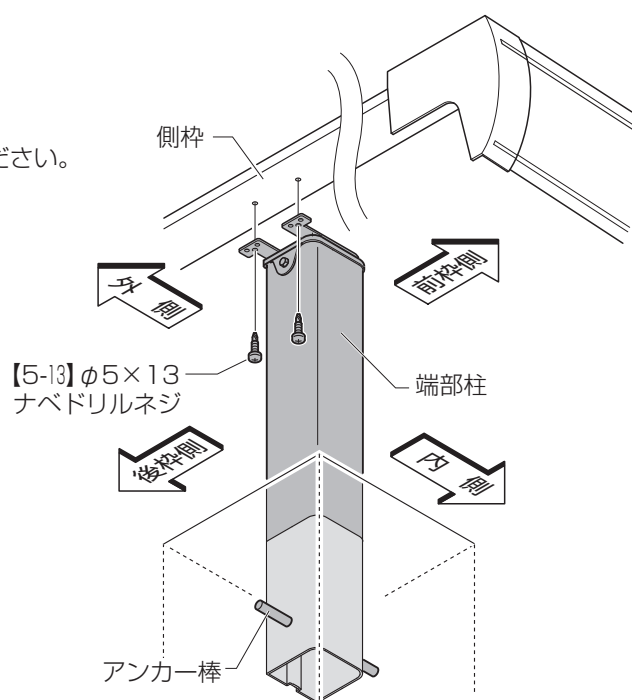
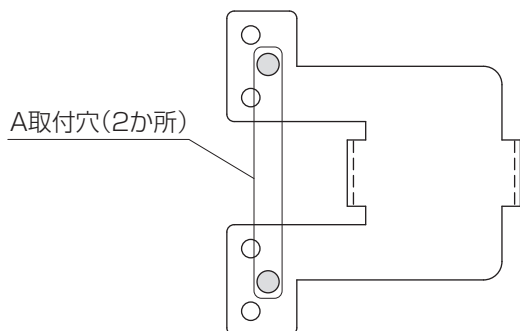


側面部パネルの施工

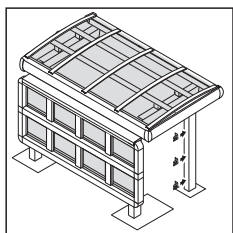
1 端部柱の建て込み



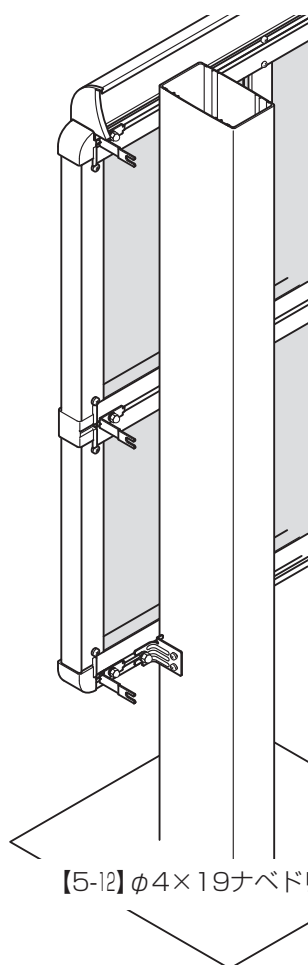
- ①アンカー棒を端部柱に差し込んでください。
- ②端部柱を建て込んでください。
- ③端部柱を本体の側枠に【5-13】で取付けてください。



2 コーナー柱固定金具の取付け

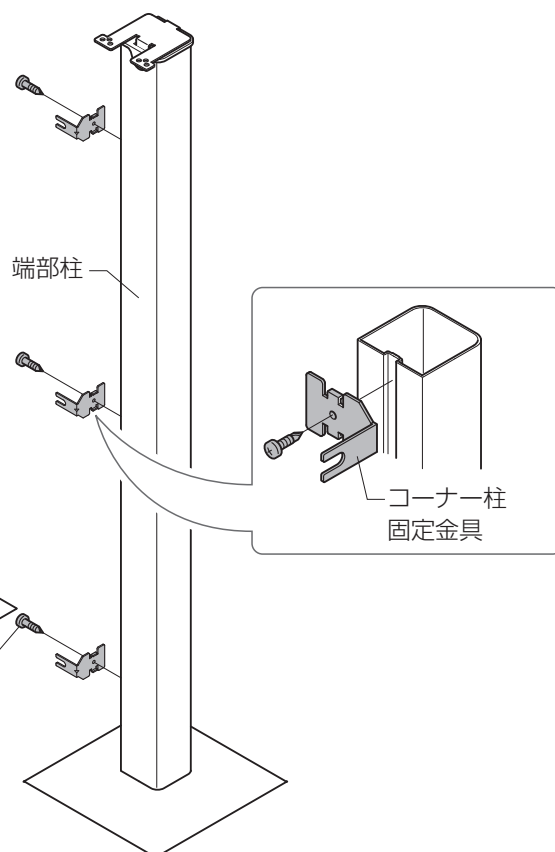


- ①コーナー柱固定金具を端部柱に【5-12】で取付けてください。

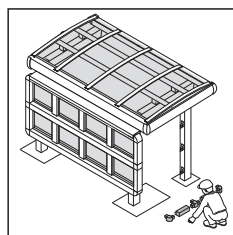


お願い

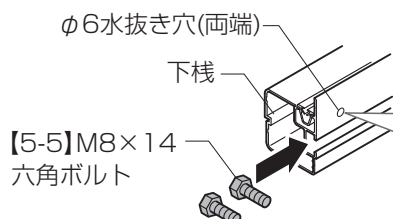
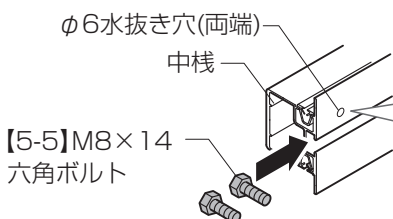
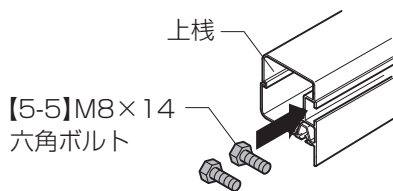
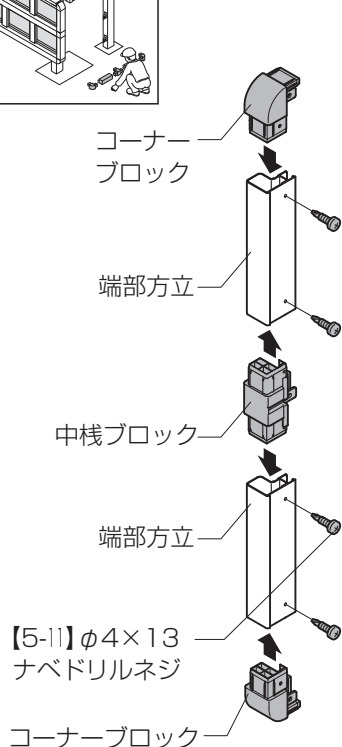
固定金具は「P.11」で指示した
φ3.5加工穴に取付けます。



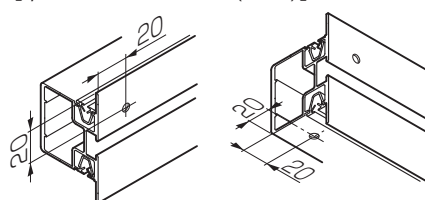
3 部材の組み立て(側面部パネル)



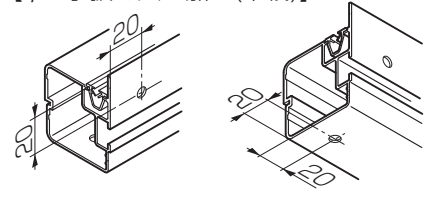
- ①コーナブロック・中棧ブロックを端部方立に【5-11】で取付けてください。
- ②中棧と下棧にφ6の水抜き穴をあけてください。
- ③上棧・中棧・下棧に【5-5】を各2本ずつ差込んでください。



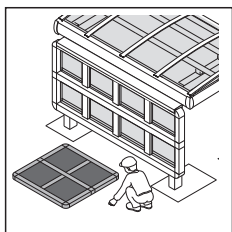
【φ6水抜き穴の加工(中棧)】



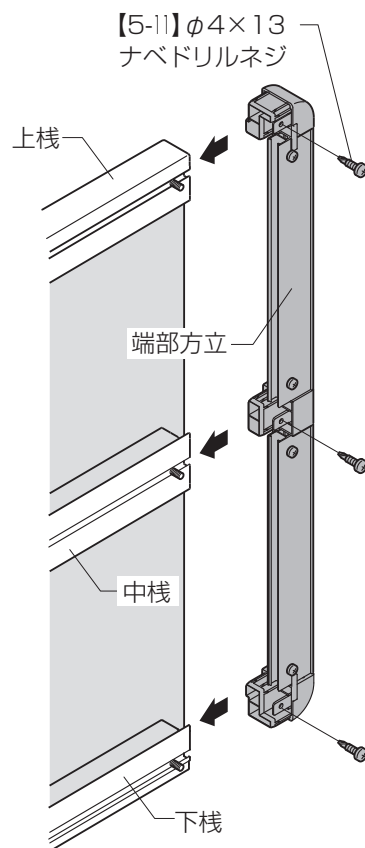
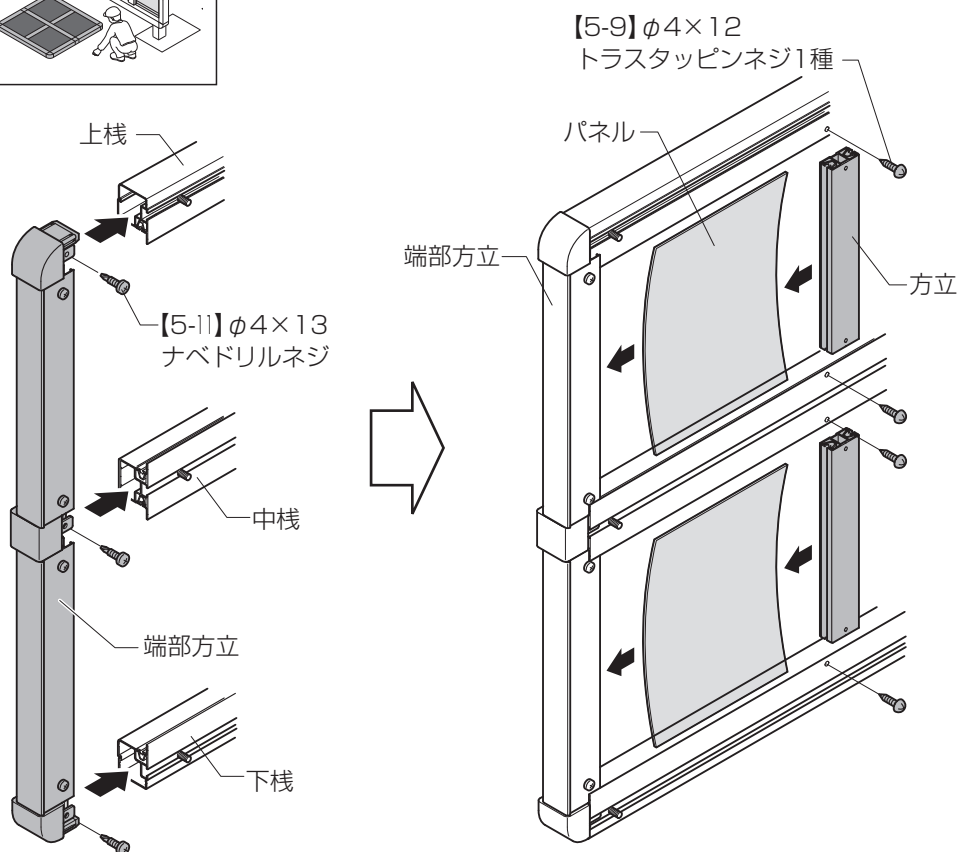
【φ6水抜き穴の加工(下棧)】



4 パネルの組み立て

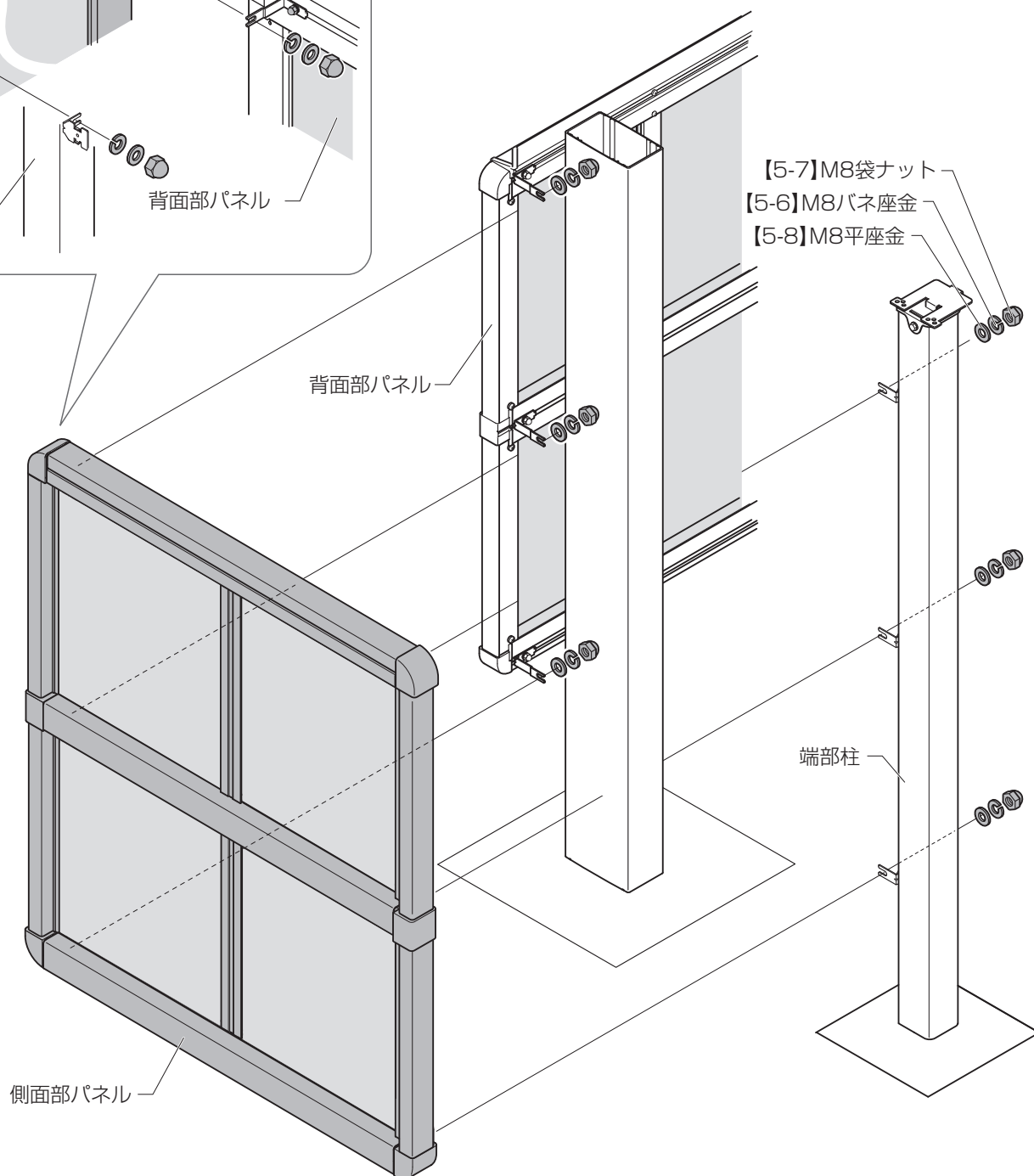
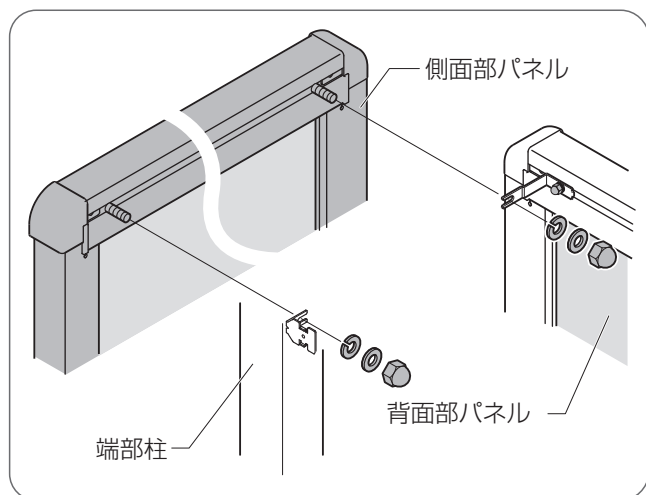
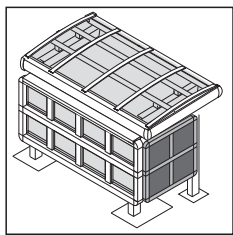


- ①組み立てた端部方立を上棧・中棧・下棧に差込み【5-11】で取付けてください。
- ②パネルをわん曲させながら端部方立にはめ込んでください。
- ③方立をスライドしてパネルにはめ込み【5-9】で取付けてください。
- ④端部方立を上棧・中棧・下棧に差込み【5-11】で取付けてください。



5 側面部パネルの固定

①側面部パネルを背面部パネル、端部柱に【5-6】【5-7】【5-8】で固定してください。



取説コード

D613

JZZ630063E
201504A_1039
202311F_1049